

図面リスト レストラン棟増改築等工事
(レストラン棟増改築、シャワールーム更衣室新築、トイレ・物販(コンビニ)棟風除室新築)

意匠図			構造図			電気設備図			機械設備図		
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-01	図面リスト	NON	S-01	構造仕様書-1	NON	E-01	トイレ・物販棟 電灯設備図	1/50	M-01	全体平面図(給水)	1/200
A-02	建築特記仕様書 01	NON	S-02	構造仕様書-2	NON	E-02	トイレ・物販棟 コンセント設備図	1/50	M-02	全体平面図(排水)	1/200
A-03	建築特記仕様書 02	NON	S-03	構造仕様書-3	NON	E-03	レストラン棟 電灯設備図	1/60	M-03	給排水構造図	図示
A-04	建築特記仕様書 03	NON	S-04	構造仕様書-4	NON	E-04	レストラン棟 コンセント設備図	1/60	M-04	全体平面図(給水・撤去)	1/200
A-05	建築特記仕様書 04	NON	S-05	構造仕様書-5	NON	E-05	レストラン棟 非常用照明設備図	1/60	M-05	全体平面図(排水・撤去)	1/200
A-06	建築特記仕様書 05	NON	S-06	構造仕様書-6	NON	E-06	レストラン棟 監視カメラ設備図	1/60	M-06	給排水構造図(撤去)	図示
A-07	建築特記仕様書 06	NON	S-07	レストラン棟 基礎伏図、基礎部材リスト、土台伏図	図示	E-07	レストラン棟 消防設備図	1/60	M-07	トイレ・物販棟 機器リスト(換気設備)	NON
A-08	建築特記仕様書 07	NON	S-08	レストラン棟 1階 床伏図、小屋伏図、屋根伏図	1/50	E-08	レストラン棟 放送設備図	1/60	M-08	トイレ・物販棟 換気設備図	1/50
A-09	建築特記仕様書 08	NON	S-09	レストラン棟 1階 壁仕様、金物配置伏図	図示	E-09	レストラン棟 電灯設備図(撤去)	1/50	M-09	レストラン棟 機器リスト(空調設備)	NON
A-10	建築特記仕様書 09	NON	S-10	レストラン棟 軸組図	1/50	E-10	レストラン棟 コンセント設備図(撤去)	1/50	M-10	レストラン棟 空調設備図	1/60
A-11	レストラン棟 現況図 01	1/200	S-11	トイレ・物販棟 基礎伏図、基礎部材リスト、土台伏図	1/50	E-11	レストラン棟 非常用照明設備図(撤去)	1/50	M-11	レストラン棟 機器リスト(換気設備)	NON
A-12	レストラン棟 現況図 02	1/100	S-12	トイレ・物販棟 1階 床伏図、小屋伏図、屋根伏図	1/50	E-12	レストラン棟 監視カメラ設備図(撤去)	1/50	M-12	レストラン棟 換気設備図	1/60
A-13	レストラン棟 外部仕上表/耐火等リスト	NON	S-13	トイレ・物販棟 1階 壁仕様、金物配置伏図	1/50	E-13	レストラン棟 消防設備図(撤去)	1/50	M-13	レストラン棟 機器リスト(空調設備・撤去)	NON
A-14	レストラン棟 内部仕上表/法チェック図	NON	S-14	トイレ・物販棟 軸組図	1/50	E-14	レストラン棟 放送設備図(撤去)	1/50	M-14	レストラン棟 空調設備図(撤去)	1/50
A-15	レストラン棟 平面図・立面図	1/200				E-15	分電盤リスト-1	NON	M-15	レストラン棟 機器リスト(換気設備・撤去)	NON
A-16	レストラン棟 平面詳細図	1/100				E-16	分電盤リスト-2	NON	M-16	レストラン棟 換気設備図(撤去)	1/50
A-17	レストラン棟 断面詳細図	1/100				E-17	動力盤リスト	NON			
A-18	レストラン棟 展開図 01	1/100				E-18	照明器具姿図	NON			
A-19	レストラン棟 展開図 02	1/100									
A-20	レストラン棟 展開図 03	1/100									
A-21	レストラン棟 屋根伏図/天井伏図	1/100									
A-22	レストラン棟 建具表	1/100									
A-23	レストラン棟 詳細図01	1/10									
A-24	レストラン棟 詳細図02	1/6 1/10									
A-25	レストラン棟 詳細図03	1/10									
A-26	トイレ・物販棟 現況図 01	1/200									
A-27	トイレ・物販棟 現況図 02	1/100									
A-28	トイレ・物販棟 内部仕上表/法チェック図	1/50									
A-29	トイレ・物販棟 外部仕上表/平面図/立面図	NON									
A-30	トイレ・物販棟 事務所、シャワールーム、倉庫 平面詳細図	1/100									
A-31	トイレ・物販棟 事務所、シャワールーム、倉庫 断面詳細図	1/100									
A-32	トイレ・物販棟 事務所、シャワールーム、倉庫 展開図	1/100									
A-33	トイレ・物販棟 店舗、シャワールーム 建具表	1/100									

道の駅発酵の里こうざき新発酵市場棟新築工事			
工事種目	レストラン棟増改築等工事		
図面種別	図面リスト		
図面番号	A-01		
縮尺	NON	内容表示	-
令和8年度			
設計者	神崎町役場まちづくり課		

1 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.1) (7.1.3)
2 施工管理技術者	・適用する (7.1.3.4) ・適用しない
3 鋼材	材質等 (7.2.1) 種類の記号 適用箇所 (主要な部分) 規格 ・JIS規格による ・JIS規格による ・JIS規格による ・JIS規格による ・JIS規格による ・JIS規格による
4 高力ボルト	ボルトの区分 (7.2.2) ・トルシア高力ボルト ・セットの種類 ※2種 (S10T) ・JIS高力ボルト ・セットの種類 ※2種 (F10T) 高力ボルトの径 (7.2.2) ・図示による () ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離、ボルト間隔) ・すべり係数試験 (7.4.2) 試験方法等 ・図示による ()
5 普通ボルト	ボルト及びナットの種類 (7.2.3) ※標準仕様書表7.2.3による 座金 (7.2.3) ・標準仕様書7.2.3(d)による ボルトの径 (7.2.3) ・図示による () ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離、ボルト間隔)
6 溶融垂れめつき高力ボルト	セットの種類 (7.2.2) ※1種 (F8T相当) 溶融垂れめつき高力ボルトの径 (7.2.2) ・図示による () 溶融垂れめつき高力ボルトのめつき前の孔径 (7.3.8) ・大臣認定を受けた内容による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離、ボルト間隔) 摩擦面の処理 (7.12.4) ・プラスト処理 (表面粗度50μmRz以上) ・プラスト処理以外の特別な処理方法 ・図示による () すべり耐力等の確認方法 ※すべり耐力試験 試験方法等 ・図示による ()
7 アンカーボルト	適用 (7.2.4) (7.10.3) ・構造用アンカーボルト ・形状、寸法 ・図示による () ・建方用アンカーボルト 種類 ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書表7.2.3による ・形状、寸法 ・図示による () ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ・図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離、ボルト間隔)
8 溶接材料	溶接材料 (7.2.5) ・標準仕様書 7.2.5(a) (b)による ・図示による ()
9 ターンバックル	種類 (7.2.6) 建築用ターンバックル類 ※割枠式 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト ねじの呼び (7.2.6) ・図示による ()
10 デッキプレート	材質、形状及び寸法 (6.8.3) (7.2.7) 適用箇所 材質・形状・寸法 備考 ・デッキプレート単独の構造 ・デッキプレートとコンクリートとの合流スラブとする構造 ・床型採用 鉄骨部材への溶接方法 (7.7.8) ・図示による ()

11 レール及びその付属品 (7.2.8)	形状及び寸法等 ・図示による ()
12 柱底均しモルタル (7.2.9)	モルタルの種類 ・無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標準仕様書7.2.9(b) (1) から (4) による ・標準仕様書7.2.9(a) によるモルタル
13 製作精度 (7.3.3)	※標準仕様書7.3.3及びH12建告第1464号第二号イによる H12建告第1464号第二号イ (1) (2) のただし書きによる補強は、「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
14 鉄骨の仮組 (7.3.10)	仮組を行う範囲 ・図示による ()
15 溶接技能者の技能付加試験 (7.6.3)	試験の要領 ・図示による ()
16 溶接接合 (7.6.4)	開先の形状 ・図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-2) スカラップの形状 (7.6.7) ・図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-4) ・エンドタブを切断する部分 (7.6.7) 適用箇所 ・図示による () エンドタブを切断する場合の仕上げは標準仕様書7.6.7(a) (b) (ii) による 溶接部の余盛り高さ (7.6.7) ・JASS6付則6「鉄骨精度検査基準」付表3〔溶接〕による 低応力高サイクル疲労を受ける部位 (7.6.7) ・図示による ()
17 溶接部の試験 (7.6.11)	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 (7.6.11) ・工場溶接の場合 AQL (%) ※4.0 2.5 節 全て 検査水準 ※第6水準 ・工事現場溶接の場合 AQL (%) ※4.0 2.5
18 錆止め塗装 (7.8.3)	塗料の種類 (7.8.3) ・鉄鋼面の錆止め塗料 屋外 ※標準仕様書 表18.3.1 A種 屋内 ・標準仕様書 表18.3.1 () 種 ・垂れめつき鋼面の錆止め塗料 ・標準仕様書 表18.3.2 A種 ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る) (7.8.3) ※標準仕様書 表18.3.1 A種 ・耐火被覆材の接着する面への塗装 (7.8.3) ・塗装を行う 適用箇所 ・図示による () 塗料の種類 ・標準仕様書 表18.3.1 () 種 ・標準仕様書 表18.3.2 () 種
19 耐火被覆 (7.9.2~7)	種類 (7.9.2~7) 種類 材料・工法 適用箇所 (部位・部分) ・耐火材吹付け ・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール ・耐火板張り ・繊維混入けい酸カルシウム板 ・耐火材巻付け ・高断熱ロックウール ・ラス張りモルタル塗り 材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする 性能 (7.9.2~7) 適用箇所 (部位・部分) ・30分耐火 ・1時間耐火 ・2時間耐火 ・3時間耐火
20 アンカーボルト等の設置 (7.10.3)	構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状並び寸法 (7.10.3) ・図示による () 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.10.3) 種類 ・A種 ・B種 ・C種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種類 (7.10.3) ※標準仕様書表7.10.2 (※A種 [厚さ50] ・B種 [厚さ30]) による
21 軽量形鋼構造 (7.11.2)	ボルト接合方法 ・

1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2.5)	ブロックの種類 (8.2.2.5) 断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ (mm) 呼び寸法 (mm) 化粧の有無 適用箇所 備考 ※空面ブロック-16 ・型枠状ブロック-20 透水性 ・普通 ・防水 各部の配筋 ※図示
2 コンクリートブロック構壁及び欄 (8.3.2.3)	ブロックの種類 (8.3.2.3) 断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ (mm) 呼び寸法 (mm) 化粧の有無 (表8.3.1) 以外の適用箇所 備考 ※空面ブロック-08 ・型枠状ブロック-16 透水性 ・普通 ・防水 各部の配筋 ※図示
3 ALCパネル (8.4.2~5)	パネルの区分 単位荷重 (N/m ²) 厚さ (mm) 長さ (mm) 耐火性能 表面加工 構法の種別 ・外壁用パネル ・間仕切壁用パネル ・屋根用パネル ・床用パネル 外壁パネルの構法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない パネル幅の最小限度 (mm) ※300 ・300未満は図示 () 外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取合い部の目地幅 目地幅 (mm) ・20 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない
4 押出成形セメント板 (ECP) (8.5.2~5)	パネルの種類 表面形状 厚さ (mm) 幅 (mm) 工法の種別 備考 ・外壁パネル ・間仕切壁パネル 外壁パネルの工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない パネルの相互の目地幅 (mm) 長辺の目地幅 ※8以上 ・図示 短辺の目地幅 ※15以上 ・図示 出隅及び入隅のパネル接合目地は伸縮調整目地としシーリング材を充填する 目地幅 (mm) ※15 ・図示 原則として、欠き込み等は行わない。やむを得ず行う場合の開口の限度 ・図示 ()
9 防水工事 (9.2.2~5) (表9.2.3~9)	1 アスファルト防水 (9.2.2~5) (表9.2.3~9) 屋根保護防水 防水層の種類 種類 施工箇所 断熱材 G 絶縁用シート 立上り部の保護 ・A-1 ・A-2 ・A-3 ・B-1 ・B-2 ・B-3 ・A1-1 ・A1-2 ・A1-3 ・B1-1 ・B1-2 ・B1-3 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.3から表9.2.8による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.5から表9.2.8による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm 以上 床タイル張り ※水下 60mm 以上 立上り部の保護 ・乾式保護材 高寒系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートレープ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。 屋上排水溝 ※図示

屋根露出防水 防水層の種類	種類 施工箇所 断熱材 G 防湿層 仕上塗料 (種類 使用量) 高日射反射率防水の適用 G ・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4 ・D1-1 ・D1-2 (材質) ※JIS A 9521による硬質ポリウレタン断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に合格するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ポリウレタン断熱材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合するもの (厚さ) ・25mm 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドリ及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 ● 製造所の標準納まり図による
屋内防水 防水層の種類	種類 施工箇所 種類 施工箇所 ・E-1 ・E-2 保護層 ・設ける (※図示) ・設けない 防水層の地下 立上りコンクリート打放し仕上げ ※標準仕様書表6.2.4〔打放し仕上げ種別〕のB種 押え金物の材質及び形状寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 防水層の地下のモルタル塗り ・適用する (施工範囲・図示) ・適用しない
防水層の種類	種類 施工箇所 断熱材 G 防湿層 仕上塗料 (種類 使用量) 高日射反射率防水の適用 G ・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS1-T1 ・AS1-J1 (材質) ※JIS A 9521 (建築用断熱材) による硬質ポリウレタン断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に合格するもの又はJIS A 9511 (発泡ポリウレタン断熱材) によるA種硬質ポリウレタン断熱材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合するもの (厚さ) ・25mm 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による 押え金物 ※改質アスファルト製造所の仕様による
道の駅発祥の里こうざき新発祥市場棟新築工事	工事種目 レストラン棟増改築等工事 図面種別 建築特記仕様書 03 図面番号 A-04 縮尺 NON 内容表示 意匠 令和8年度 設計者 神崎町役場まちづくり課

12 ① 表面仕上げ (12.1.4)
② 造作用集成材 (12.2.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)
③ 造作用集成材 (12.2.1)
④ 造作用単板積層材 (12.2.1)

5 床張り用合板等 (12.2.1)
⑥ 接着剤 (12.2.2.3)
⑦ 防虫・防蟻処理 ※構造特記による (12.3.1.2)
⑧ 長尺金属板葺 (13.2.2.3)
2 折板葺 (13.2.2) (13.3.2.3) (表13.2.1)
3 7<3>に貼る 貼葺 (13.2.2.3)

4 屋根葺き
5 とい (13.5.2.3) (表13.5.5)
① ステンレスの表面仕上げ (14.2.2) (表14.2.1)
2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2) (表14.2.1)
3 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3) (表14.2.2)
④ 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4) (表14.4.1)
⑤ 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) (表14.5.1)
6 金属成形板張り (14.6.2.3) (表14.2.1)

⑦ 7<3>製笠木 (14.7.2.3) (表14.2.1) (表14.7.1)
8 手すり及びタラップ (14.8.2.3)
15 左官工事
① モルタル塗り (15.2.2.5)
② 床コンクリート直均し仕上げ (6.2.5) (15.3.2)
③ セルフベリング材塗り (15.4.2) (表15.4.1)
④ 仕上塗材仕上げ (15.5.2) (表15.5.1)
5 ALCパネルの場合の 下地処理 (15.5.4)
6 マスチック塗材塗り (15.6.2)
7 ロックウール吹付け (15.8.2)

① 表面仕上げ (12.1.4)
② 造作用集成材 (12.2.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)
③ 造作用集成材 (12.2.1)
④ 造作用単板積層材 (12.2.1)

5 床張り用合板等 (12.2.1)
⑥ 接着剤 (12.2.2.3)
⑦ 防虫・防蟻処理 ※構造特記による (12.3.1.2)
⑧ 長尺金属板葺 (13.2.2.3)
2 折板葺 (13.2.2) (13.3.2.3) (表13.2.1)
3 7<3>に貼る 貼葺 (13.2.2.3)

4 屋根葺き
5 とい (13.5.2.3) (表13.5.5)
① ステンレスの表面仕上げ (14.2.2) (表14.2.1)
2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2) (表14.2.1)
3 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3) (表14.2.2)
④ 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4) (表14.4.1)
⑤ 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) (表14.5.1)
6 金属成形板張り (14.6.2.3) (表14.2.1)

⑦ 7<3>製笠木 (14.7.2.3) (表14.2.1) (表14.7.1)
8 手すり及びタラップ (14.8.2.3)
15 左官工事
① モルタル塗り (15.2.2.5)
② 床コンクリート直均し仕上げ (6.2.5) (15.3.2)
③ セルフベリング材塗り (15.4.2) (表15.4.1)
④ 仕上塗材仕上げ (15.5.2) (表15.5.1)
5 ALCパネルの場合の 下地処理 (15.5.4)
6 マスチック塗材塗り (15.6.2)
7 ロックウール吹付け (15.8.2)

道の駅発祥の里こうざき新発田市棟新築工事
工事種目 レストラン棟増改築等工事
図面種別 建築特記仕様書 05
図面番号 A-06
縮尺 NON 内容表示 意匠
令和8年度
設計者 神崎町役場まちづくり課

16 建具工事

1 防火戸 (16.1.3)
※建具表による

2 見本の製作等 (16.1.4)
建具見本の製作 ・行方 (建具符号:)
・行わない
建具見本の程度 ・工事を使用するものとして、あらかじめ製作する
・納まり等が分かる程度のもの
特殊な建具の仮組 ・行方 (建具符号:)
・行わない

3 防犯建物部品 (16.1.6)
・適用する (適用箇所は建具表による)
・適用しない

④ アルミニウム製建具 (16.2.2, 4.5) (表14.2.1)
性能等級
外部に面する建具 ・A種 (建具符号: ※建具表による)
・B種 (建具符号: ※建具表による)
・C種 (建具符号: ※建具表による)
・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級 ()
(建具符号: ・建具表による)
・断熱ドアセット・断熱サッシ 断熱性の等級 ()
(建具符号: ・建具表による)
・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 ()
(建具符号: ・建具表による)
枠の見込み寸法 ・建具表による
表面処理
外部に面する建具 ・B-1種 ・B-2種
皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による)
着色 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー)
・C-1種 ・C-2種
屋内の建具 皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による)
着色 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー)
結露水の処理方法 ※図示
水切り板、ぜん板 ※図示

⑤ 網戸等 (16.2.3)
種 類 材 種 線 径 網 目
・防虫網 ※合成樹脂製 ※0.25mm以上 ※16~18メッシュ
・防鳥網 ステンレス (SUS 304) 線材 1.5mm 網目寸法15mm

6 樹脂製建具 (16.3.2~5)
性能等級
外部に面する建具 ・A種 (建具符号: ※建具表による)
・B種 (建具符号: ※建具表による)
・C種 (建具符号: ※建具表による)
・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級 (・T-1 ・T-2)
(建具符号: ・建具表による)
・断熱ドアセット・断熱サッシ 断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・H-6)
(建具符号: ・建具表による)
枠の見込み寸法 ・建具表による
表面色 ※標準色 ・特注色
水切り板、ぜん板 ※図示
ガラス ※複層ガラス

⑦ 鋼製建具 (16.2.2) (16.4.2~4) (表16.4.2)
性能等級
簡易気密型 ●適用する (建具符号: ・建具表による)
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 (建具符号: ・建具表による)
・S-5 (建具符号: ●建具表による)
・S-6 (建具符号: ・建具表による)
・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級 ()
(建具符号: ・建具表による)
・断熱ドアセット・断熱サッシ 断熱性の等級 ()
(建具符号: ・建具表による)
・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 ()
(建具符号: ・建具表による)

⑧ 鋼製軽量建具 (16.2.2) (16.5.2~4)
性能等級
簡易気密型 ●適用する (気密性の等級はA-3とする)
(建具符号: ●建具表による)
・適用しない
・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級 ()
(建具符号: ・建具表による)
・断熱ドアセット・断熱サッシ 断熱性の等級 ()
(建具符号: ・建具表による)
・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 ()
(建具符号: ・建具表による)
鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板
鋼板の厚さ ※標準仕様書表16.5.11による
召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板

9 ステンレス製建具 (16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~4)
性能等級
簡易気密型 ・適用する (建具符号: ・建具表による)
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 (建具符号: ・建具表による)
・S-5 (建具符号: ・建具表による)
・S-6 (建具符号: ・建具表による)
・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級 ()
(建具符号: ・建具表による)
・断熱ドアセット・断熱サッシ 断熱性の等級 ()
(建具符号: ・建具表による)
・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 ()
(建具符号: ・建具表による)
鋼板 (屋外) ※SUS 430JIL, SUS 443J1, SUS 304
鋼板 (屋内) ※SUS 430, SUS 430JIL, SUS 443J1, SUS 304
表面仕上げ ※H L ・鏡面
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

10 木製建具 (16.7.2~4)
建具材の加工、組立時の含水率 ※白種
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放熱量 ※規制対象外
・フラッシュ戸
表面材の合板の種類
合板の種類 樹種・規格等 備 考
・普通合板 表面の樹種
生地、透明塗料塗り (※100%合板程度)
不透明塗料塗り (※10%合板程度)
板面の品質 ()
接着の程度 (・1類 ・2類)
・天然木化粧合板 樹種名 ()
接着の程度 (・1類 ・2類)
・特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 (・オーバレイ・プリント・塗装)
表面性能 () タイプ
接着の程度 (・1類 ・2類)
表面材の厚さ ※表16.7.6による
・かまち戸 かまち樹種 (タモ) 鏡板樹種 ()
見込み寸法 ※36mm ・建具表による
・ふすま 張りの種別 (・I型 ・II型)
上張り ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 押入等の裏側は雲花紙程度
縦じ上 ・塗り縁・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンクリヤー塗装)
見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による
・戸ぶすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による
・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による
枠、くつずりの材料 ・建具表による

⑩ 建具用金物 (16.8.2.3)
金物の種類・見え掛り部の材質等
※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による
樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表16.8.3による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置
●建具表による
錠前類 ●建具表による
クローザ類 ●建具表による

⑫ 鍵 (16.8.4)
マスターキー ●製作する ・製作しない
その他の鍵 ※各室3本1組
鍵箱 ※有り ・無し

⑬ 自動ドア開閉装置 (16.9.2.3)
自動ドア 性 能 防 錆 センサーの種類 凍結防止
●SSL-D-1 ※標準仕様書表16.9.1による
・SSL-D-2
●DSL-D-1
・DSL-D-2
・SMD-1 ※標準仕様書表16.9.2による
・SMD-1
・適用する
・適用しない
・図示
・マトリクススイッチ
・光線 (反射) スイッチ
・熱線スイッチ
・音波スイッチ
・電波スイッチ
・光電スイッチ
・電波スイッチ
●タッチスイッチ
・押しボタンスイッチ
・ペダルスイッチ
・多機能トレススイッチ
・行方 (適用箇所は建具表による)
●行わない

⑭ 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)
性能 ※標準仕様書表16.10.1による

15 重量シャッター (16.11.2.3)
シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度 () N/m²
・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 () N/m²
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
開閉機能による種類 ※上部電動式 (手動併用) ・上部手動式
シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類
・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 ※Z12又はF12

16 軽量シャッター (16.12.2~4)
開閉形式 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用)
耐風圧強度 () N/m²
スラットの材質
・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっき付着量 (※Z06又はF06)
・JIS G 3322 (塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)
めっき付着量 (※AZ90)
スラットの形状 ・インナーロックンギン形 ・オーバーラッピング形

17 オーバーヘッドドア (16.13.2.3)
セクション材料 耐風圧 開閉方式 収納形式 ガイドレールの材質
による区分 区分 (Pa) による区分 による区分 による区分
※スチールタイプ ・125 ※バランス式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板
・ファイバーグラス タイプ ・75 ・電動式 ・ハイリフト形
・パーチカル形
・50

⑮ ガラス (9.7) (16.14.2~4) (表16.14.1)
適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表による。
・合わせガラス
品 種 構成種類 性 能
・フロート合わせガラス ・フロート板合わせガラス ・I類
・網入磨き合わせガラス ・網入磨き、フロート板合わせガラス ・II-1類 ・II-2類
・熱線吸収網入磨き合わせガラス ・III類
●強化ガラス
材料板ガラスによる種類 種 類 性 能
●フロートガラス ●フロート強化ガラス ●I類 ・III類
・型板ガラス ・型板強化ガラス
・熱線吸収板ガラス
品 種 性 能 色 調
・熱線吸収フロート板ガラス 1種 ・2種 ・ブルー・グレー・ブロンズ
・熱線吸収網入磨き板ガラス
●複層ガラス
品 類 断熱性 日射熱遮へい性
・1種 U1
●断熱複層ガラス ●2種 U2
・3種 U-3-1 ・U-3-2
・4種 E4
・日射熱遮へい複層ガラス ・5種 E5
・熱線反射ガラス
品 類 日射熱遮へい性 耐久性
・熱線反射ガラス ・1種 A種
色調 (・ブルー・グレー) ・2種 ・A種 ・B種
・高性能熱線反射ガラス ・3種 B種
色調 (・ブロンズ・シルバー)
反射被膜面 ・内面 ・外面
映像調整 ・行わない ・行方
・倍強度ガラス
材料板ガラスによる種類の名称 色 調
・フロート倍強度ガラス -
・熱線吸収倍強度ガラス ・グレー ・ブルー ・ブロンズ
ガラスの留め材及び溝の大きさ
建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ (mm)
アルミニウム製 ●シーリング材 ※標準仕様書表16.14.11による
・ガasket
・グレイジングチャンネル形
鋼製及び鋼製軽量 ●シーリング材 ※標準仕様書表16.14.11による
・図示
ステンレス製 ●シーリング材 ※標準仕様書表16.14.11による
・図示
表面形状 呼び寸法 厚さ 色 調 目地幅 (mm) 伸縮調整 防火性能
・125×125 80 - - ※8~15 外側 ※15以下 ※6m以下
・160×160 95 - - ・15~25 内側 ※15以下 10~25
・正方形 200×200 95 - - ・125 - - ※6以上 図示
・320×320 95 - - ・250×125 80 - -
・長方形 ・320×160 95 - - ※無し
・有り
曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。
壁用金属枠及び補強材 ・設ける (形状 ※図示)
・設けない
カ骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS 304)
寸法 ※径5.5mm
形状 ※はしご形状横筋及び単筋
化粧目地モルタルの色 ()
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
寸法 ※図示
形状 ※図示
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法)
・適用しない
目地部のカ骨の補強方法
※ガラスブロック製造時の仕様による ・図示

17 カーテンウォール工事 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)

1 取付方法、性能等
取付方法 ・層間方式 ・柱・梁方式 ・方立方式 ・スバンドレル方式
性能
耐震性能 水密性 気密性 遮音性 断熱性 耐火性能 耐温度変性
水平方向 (kH) 垂直方向 (kV) W-4 A-3
・1.0 ・0.5
・30分
・1時間
・80
・70
・60
耐風圧性能
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法)
・適用しない
主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く)
支点間距離 (h) 耐風圧性能 状 態
4m以下 ・たわみ量が±(1/150)×h
かつ絶対量20mm以下であること
部材の脱落、ガラスの破損及び
4mを超える ・
層間変位追随性
建築物の構造種別 層間変位量 (h=支点間距離) 変位後の状態
鉄骨造 ・±(1/200)×h以上 部材の脱落、ガラスの破損及び
鉄筋コンクリート造 ・±(1/300)×h以上
鉄骨鉄筋コンクリート造
シーリング材
下表以外に標準仕様書表9.7.1による
接着体の組合せ シーリング材の種類
ガラス 記号 主成分による区分
金属 ガラス 石、タイル
ガラス ガラス
カーテンウォール横間目地
ガラスの取付け
構造ガasket
・適用する (施工箇所・図示)
材質 ・クロロフレン系 ・EPM系 ・シリコン系
形状 ・H型 ・Y型 ・O型
寸法 (mm) ガラス板厚 ()、支持棒の厚さ ()、ウェブの寸法 ()
・適用しない
断熱材 種類 ()
厚さ (mm) ()
施工箇所 ・図示
耐火材料
施工部位 種 別 規格帯
・ファスナー部
・取付けブラケット
・パネル目地部
・層間ふさぎ
性能の確認方法及び判定方法
・行方 ・行わない (資料による承諾)
カーテンウォールの材料 (17.2.2.3.5)
材 料 規格等 表面処理 映像調整
※アルミニウム製 ※標準仕様書表16.2.31による
・A-1種 ・A-2種 ・B-1種
皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.11による)
着色 (・アンバー ・ブロンズ
・ブラック系 ・ステンカラー)
製品及び取付位置の寸法許容差 ※標準仕様書表17.2.1~3による
ガラス溝の寸法、形状 ※製作時の仕様による
カーテンウォールの材料
コンクリート ※標準仕様書表17.3.2(a)(i)~(iv)による
鉄筋 ※SD295A (・D13 ・D10)
補強鉄線の径 (mm) ※3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0
配筋 ※図示
先付けの材料 ・サッシ枠 ・ゴンドラ用ガイドレール
表面仕上げ材 ・磁器質タイル
・石材 (・花こう岩 ・大理石)
構造ガasketを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 (mm)
・h=1~2, W1及びW2±1
製品及び取付位置の寸法許容差 ※標準仕様書表17.3.1~2による
道の駅発祥の里こうざき新発祥市場棟新築工事
工事種目 レストラン棟増改築等工事
図面種別 建築特記仕様書 06
図面番号 A-07
縮 尺 NON 内容表示 意匠
令和8年度
設 計 者 神崎町役場まちづくり課

1 材料 (18.1.3) 屋内で使用される塗料のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする (箇所：) (18.2.2~7) 2 素地ごしらえ (18.3.2.3) 3 錆止め塗料塗り (18.4.1~18.14.2) 4 塗装 (18.4.1~18.14.2)

1 接着剤 (19.2.2) 接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・接着剤に含まれる可塑剤は、揮発性のものとす。 (19.2.2.3) 2 ニル床シート (19.2.2) 3 ニル床タイル (19.2.2) 4 ニル幅木 (19.2.2) 5 ゴム床タイル (19.2.2) 6 カーペット敷き (19.3.3.4) (表19.3.1.2) 7 合成樹脂塗床 (19.4.2.3) (表19.4.1~8)

単層フローリング (19.5.2~6) (表19.5.1~5) 複合フローリング (19.6.2) (表19.6.1) 9 畳敷き (19.7.2.3) (表19.7.1) 10 せっこうボード、その他ボード及び合板張り (19.7.2.3) (表19.7.1)

12 断熱材 (19.9.2.3) 断熱材打込み工法 断熱材の種類 厚さ (mm) 施工箇所

道の駅発祥の里こうざき新発祥市場棟新築工事 工事種目 レストラン棟増改築等工事 図面種別 建築特記仕様書 07 図面番号 A-08 縮尺 NON 内容表示 意匠 令和8年度 設計者 神崎町役場まちづくり課

1 フリーアクセスフロア (20.2.2)
施工箇所 構法 寸法(mm) 高さ(mm) 耐震性能 所定荷重 表面仕上げ材 備考

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(b)(5)(i)~(iii)による
厚さ ±0.5mm
平坦度 パネル周辺部 1.0mm以下
圆心と各頂点を結ぶ線上部 2.0mm以下

2 可動間仕切 (20.2.3)
構造形式 構成機材の種類 総厚さ(mm) 表面仕上げ 遮音性能(dB/500Hz) 防火性能

パネル内に取付ける建具 ・あり(※図示) ・なし
表面仕上げを壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による

3 移動間仕切 (20.2.4)
走行方向 操作方法 圧縮装置の操作方法 総厚さ(mm) 表面仕上げ 遮音性能(dB/500Hz)

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標準仕様書19章による
遮音性は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする

4 トイレブース (20.2.5)
表面材の材質 脚部 形状 形状 材質

パネル材料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外

5 視覚障害者用床タイル (11.2.2)(19.2.2)
施工箇所 種類 寸法(mm) 厚さ(mm)

6 階段滑り止め (20.2.6)
材種 幅(mm) 取付け方法 端部フラットエンド

7 手すり
材種 表面仕上げ 直径(mm) 取付箇所 備考

8 黒板及びホワイトボード (20.2.8)
種類 寸法(mm) 色 形式

9 鏡 (20.2.9)
取付箇所 ()
寸法(mm) ・図示
厚さ(mm) ※5

10 表示 (20.2.10)
区分 材質 寸法(mm) 厚さ(mm) 取付高さ(mm) 備考

案内用図記号はJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とする。

11 煙突ライニング (20.2.11)
煙突用成形ライニング材 ・適用する ・適用しない
適用安全使用温度 ・400℃ ・650℃

12 ブラインド (20.2.12)
形式 操作方法 種類 スラットの材質 スラット幅(mm) ボックス・レールの材質 寸法・取付箇所

アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工

13 ロールスクリーン (20.2.13)
材種 操作方式 遮光性能 寸法(mm) 取付箇所 備考

巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料は製造所の仕様による。

14 カーテン (20.2.14)
形式 開閉操作 ひだの種類 きれ地の別、品質、特殊加工等 取付箇所 備考

使用される繊維のうち、ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品については () とする

15 カーテンレール (20.2.14)
材種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製
形式 ・シングル ・ダブル

16 ブラインドボックス及びカーテンボックス (20.2.14)
溝幅×深さ(mm) ●100×80 ※120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示

17 天井点検口 (20.2.14)
材種 寸法 形式 外枠 内枠

18 床点検口 (20.2.14)
材種 寸法 形式 備考

19 耐震スリット
方向 タイプ 耐火性能 防水性能 備考

20 止水板
形式 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式
施工箇所 ・図示 ・配管ボックス

21 エキスパンションジョイント金物
材種 クリアランス 耐火性能 備考

22 かつふきマット
材種 受け枠 備考

23 流し台ユニット
材種 寸法(mm) W D H 備考

24 旗竿
材質 形式 高さ(m) 操作方法 固定方法 備考

25 旗竿受金物
形式 材種 柱径・肉厚(mm) 高さ(mm)

26 車止め支柱
形式 材種 柱径・肉厚(mm) 高さ(mm)

27 フェンス
フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス

28 ブレキャストコンクリート (20.3.3.4)
コンクリートの設計基準強度
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³を満足する割合強度

29 間知石及びコンクリート間知ブロック積み積み (20.4.2.3)
材種 材種 種類 質量区分 備考

30 鋼製書架及び物品棚
種類 規格等 耐荷量による種類

31 屋内掲示板
材の材質 ※アルミニウム製 ・木製
表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り(マグネット兼用) ・コルク

32 洗面カウンター
材種 ・メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材) ・人工大理石

33 防煙垂れ壁
形式 材質 厚さ(mm) 高さ(mm) 備考

34 収納家具
材質 ・ ※図示
形状・寸法 ※図示

35 屋外掲示板
照明器具 ※有り ・無し
施錠 ※有り ・無し

36 敷地境界石標
種類 ※コンクリートブロック製(市販品)
・花こう石類(文字記号等入り)

37 配線ビッド蓋
材種 寸法 形式 備考

38 ルーバー
樹種 寸法 ピッチ 施工箇所

工事項目 参考メーカー名 参考品番(同等品名)

道の駅発祥の里こうざき新発祥市場棟新築工事
工事種目 レストラン棟増改築等工事
図面種別 建築特記仕様書 08
図面番号 A-09
縮尺 NON 内容表示 意匠
令和8年度
設計者 神崎町役場まちづくり課

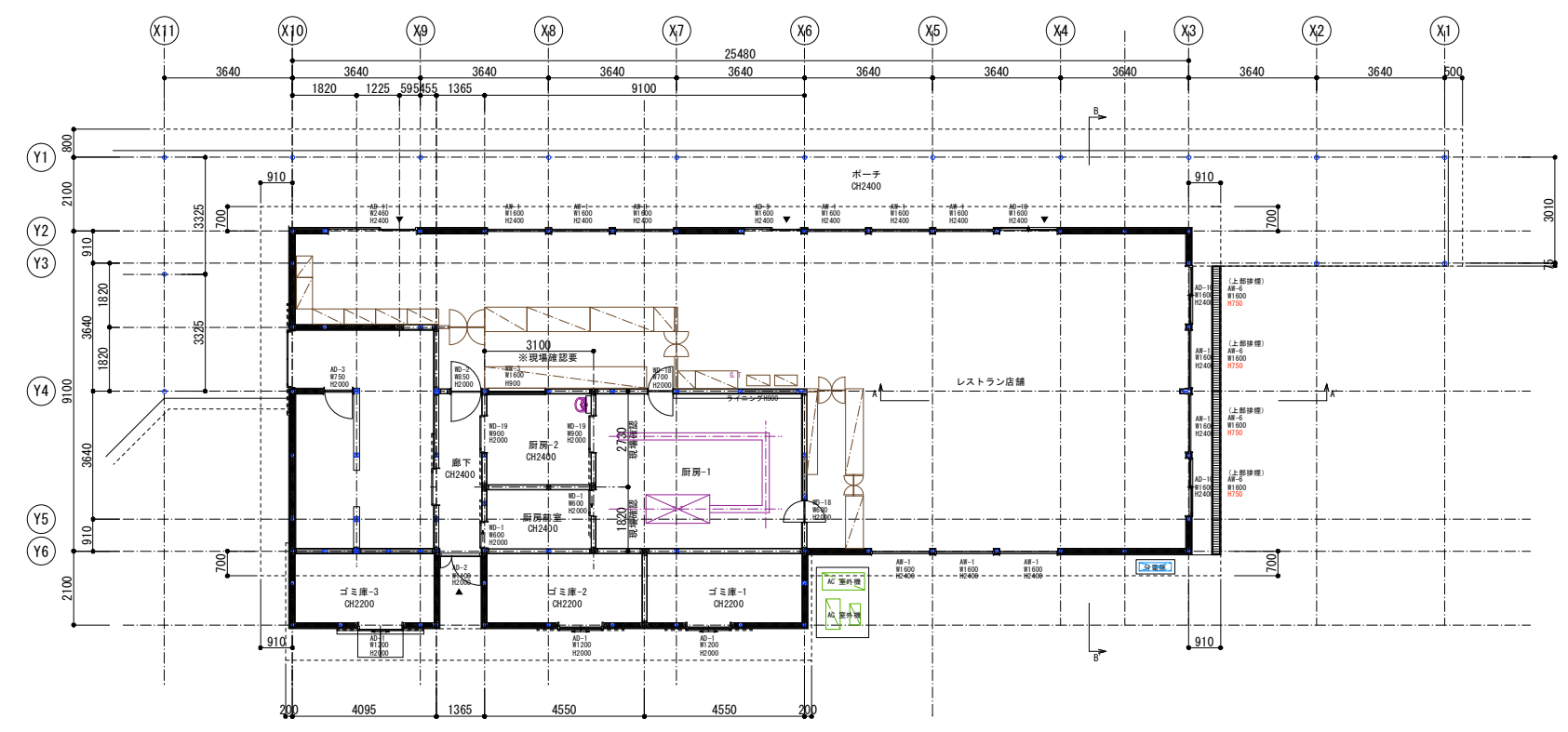
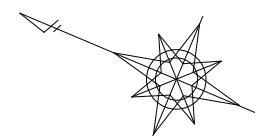
21 排水工事	1 屋外雨水排水 (21.2.1)(表21.2.1)	<p>排水管材料</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>管の種類</th> <th>形 状</th> <th>呼び径</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>・外圧管 (1種)</td> <td>・B形管</td> <td>・図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>・VP</td> <td>・</td> <td>・図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・VU</td> <td>・</td> <td>・図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・RS-VU</td> <td>・</td> <td>・図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管継手</td> <td>・DV</td> <td>・</td> <td>・図示</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>基礎の厚さ及び種類 図示 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 側溝の形状及び寸法 図示 排水溝の種類 図示 砂地業に用いる材料 ※標準仕様書 (21.2.1) (g) (1) 図示 砂利地業に用いる材料 ※標準仕様書 (21.2.1) (g) (2) 図示</p> <p>コンクリート基礎等に用いる材料 ※標準仕様書 (6.14) 設計基準強度18N/mm²とする。 ただし、コンクリートが簡易な場合の調査 (容積比) セメント1：砂2：砂利4程度とする。 図示</p> <p>凍上抑制層 (21.2.1)(表21.2.2) 厚さ 図示 材料 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下) 砂の粒度試験 行う 行わない</p>	材 種	管の種類	形 状	呼び径	備 考	・遠心力鉄筋コンクリート管	・外圧管 (1種)	・B形管	・図示	・	・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP	・	・図示	・		・VU	・	・図示	・		・RS-VU	・	・図示	・	・硬質ポリ塩化ビニル管継手	・DV	・	・図示	・
	材 種	管の種類	形 状	呼び径	備 考																											
	・遠心力鉄筋コンクリート管	・外圧管 (1種)	・B形管	・図示	・																											
	・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP	・	・図示	・																											
		・VU	・	・図示	・																											
		・RS-VU	・	・図示	・																											
	・硬質ポリ塩化ビニル管継手	・DV	・	・図示	・																											
	2 鉄製ふた (21.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>種 類</th> <th>適用荷重</th> <th>鍵</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>鉄製マンホールふた</td> <td>・水封形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (テーパ・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパ・パッキン式)</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-20用</td> <td>・有り ・無し</td> <td>左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会SHASE-S209による</td> </tr> </table>	名 称	種 類	適用荷重	鍵	備 考	鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (テーパ・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパ・パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会SHASE-S209による																				
	名 称	種 類	適用荷重	鍵	備 考																											
	鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (テーパ・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパ・パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会SHASE-S209による																											
3 グレーチング (21.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>形 式</th> <th>用 途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインバーピッチ</th> <th>垂鉛めっき (付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>●鋼製</td> <td>●受枠付き ボルト固定 ・受枠付き</td> <td>・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた用 ●U字溝用</td> <td>●歩行用</td> <td>●細目</td> <td>●400g/m²</td> <td>●凹凸形 ・</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス</td> <td>・受枠付き ボルト固定 ・受枠付き</td> <td>・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用</td> <td>・歩行用</td> <td>・細目</td> <td>・</td> <td>・凹凸形 ・</td> </tr> </table>	材 質	形 式	用 途	適用荷重	メインバーピッチ	垂鉛めっき (付着量)	上面形状	●鋼製	●受枠付き ボルト固定 ・受枠付き	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた用 ●U字溝用	●歩行用	●細目	●400g/m ²	●凹凸形 ・	・ステンレス	・受枠付き ボルト固定 ・受枠付き	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用	・細目	・	・凹凸形 ・										
材 質	形 式	用 途	適用荷重	メインバーピッチ	垂鉛めっき (付着量)	上面形状																										
●鋼製	●受枠付き ボルト固定 ・受枠付き	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた用 ●U字溝用	●歩行用	●細目	●400g/m ²	●凹凸形 ・																										
・ステンレス	・受枠付き ボルト固定 ・受枠付き	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用	・細目	・	・凹凸形 ・																										
4 街きよ、緑石、側溝 (21.3.1)(表21.3.1)	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>形状、寸法</th> </tr> <tr> <td>・緑石</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・L形側溝</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>●U形側溝</td> <td>●図示</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝ふた</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>地業の材料 ※標準仕様書 (4.6.2) (a)による 図示 砂利地業の厚さ ※100 (mm) 図示 コンクリート基礎等に用いる材料 ※標準仕様書 (6.14) 設計基準強度18N/mm²とする。 ただし、コンクリートが簡易な場合の調査 (容積比) セメント1：砂2：砂利4程度とする。 図示</p> <p>凍上抑制層 (21.2.1)(表21.2.2) 厚さ 図示 材料 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下) 砂の粒度試験 行う 行わない</p>	種 類	形状、寸法	・緑石	・図示	・L形側溝	・図示	●U形側溝	●図示	・U形側溝ふた	・図示	・	・図示																			
種 類	形状、寸法																															
・緑石	・図示																															
・L形側溝	・図示																															
●U形側溝	●図示																															
・U形側溝ふた	・図示																															
・	・図示																															
5 埋戻し土 (21.2.1)	※B種																															

22 舗装工事	1 路床 (22.2.2.3.5)	<p>路床の材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>材 料</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>路床安定処理 ・添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 () ・消石灰 () 添加量 kg (目標CBR 5以上) ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m²以上 厚さ (mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1.5×10⁻⁶cm/sec以上</p> <p>試験 砂の粒度試験 行う 行わない 路床土の支持力比 (CBR) 試験 行う 行わない 現場CBR試験 行う 行わない 路床締固め度の試験 (現場密度) 行う 行わない</p>	種 別	材 料	厚 さ (mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示	・凍上抑制層	・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)	・図示	・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	・図示					
	種 別	材 料	厚 さ (mm)																
	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示																
	・凍上抑制層	・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)	・図示																
	・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	・図示																
	2 路盤 (22.3.2.3.5)(表22.3.1)	<p>路盤の厚さ 図示 路盤材料 ・砕石 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ</p> <p>試験 路盤締固め度の試験 ※行う 行わない</p>																	
	3 アスファルト舗装 (22.4.2~6)(表22.4.1~4)	<p>アスファルト舗装の構成及び厚さ 図示 材料 アスファルト ・再生アスファルト ・ストレートアスファルト 骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材</p> <p>加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>地 域</th> <th>種 類</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">表層</td> <td>・一般地域</td> <td>・密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13)</td> </tr> <tr> <td>・寒冷地域</td> <td>・密粒度アスファルト混合物 (13F)</td> </tr> </table> <p>シールコートの施工 行う 行わない</p> <p>試験 アスファルト混合物等の抽出試験 行う 行わない 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	区 分	地 域	種 類	表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13)	・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物 (13F)									
	区 分	地 域	種 類																
	表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13)																
		・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物 (13F)																
4 コンクリート舗装 (22.5.2~4.6)(表22.5.1~3)	<p>コンクリート舗装の厚さ (22.5.2~4.6)(表22.5.1~3)</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部 位</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート舗装</td> <td>歩行者用通路</td> <td>※70 図示</td> </tr> <tr> <td>車路及び駐車場</td> <td>・150 図示</td> </tr> </table> <p>寒冷地の縁部立下り寸法等 図示 材料 コンクリート ・標準仕様書表22.5.2による 早強セメント ・使用する ・使用しない 注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ 目地 種類、間隔、構造 ※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による 図示</p> <p>試験 コンクリート版厚さの試験 行う 行わない 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	舗装の種類	部 位	厚 さ (mm)	コンクリート舗装	歩行者用通路	※70 図示	車路及び駐車場	・150 図示										
舗装の種類	部 位	厚 さ (mm)																	
コンクリート舗装	歩行者用通路	※70 図示																	
	車路及び駐車場	・150 図示																	
5 カラー舗装 (22.6.2~4)(表22.6.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類・工法</th> <th>部 位</th> <th>基 層</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・加熱系</td> <td>・アスファルト混合物</td> <td>・車道及び駐車場</td> <td>・無し</td> </tr> <tr> <td>・石油樹脂系混合物</td> <td>・歩行者用通路</td> <td>・無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・常温系</td> <td>・ニート工法</td> <td>・アスファルト舗装</td> <td>3~5</td> </tr> <tr> <td>・塗布工法</td> <td>・コンクリート舗装</td> <td>1程度以下</td> </tr> </table> <p>舗装厚さの許容差 ※標準仕様書 (22.4.2 (c)) による 材料 加熱系混合物に添加する材料 ・着色骨材 () ・自然石 () 配合 結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量 ニート工法及び塗布工法の配合等</p> <p>試験 加熱系 標準仕様書 (22.4.6(a)~(c)) 抽出試験 行う 行わない 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	種類・工法	部 位	基 層	厚 さ (mm)	・加熱系	・アスファルト混合物	・車道及び駐車場	・無し	・石油樹脂系混合物	・歩行者用通路	・無し	・常温系	・ニート工法	・アスファルト舗装	3~5	・塗布工法	・コンクリート舗装	1程度以下
種類・工法	部 位	基 層	厚 さ (mm)																
・加熱系	・アスファルト混合物	・車道及び駐車場	・無し																
	・石油樹脂系混合物	・歩行者用通路	・無し																
・常温系	・ニート工法	・アスファルト舗装	3~5																
	・塗布工法	・コンクリート舗装	1程度以下																
6 透水性 アスファルト舗装 (22.7.2.3.6)	<table border="1"> <tr> <th>材 料</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>ストレートアスファルト</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 行う 行わない 舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの</p>	材 料	厚 さ (mm)	ストレートアスファルト	・図示														
材 料	厚 さ (mm)																		
ストレートアスファルト	・図示																		

7 ブロック系舗装	7 ブロック系舗装 (22.8.2.3)	<p>・コンクリート平板舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>目地材</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※普通平板 (N)</td> <td>※300角</td> <td>・60</td> <td>※砂</td> <td>表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し</td> </tr> <tr> <td>・透水平板 (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・モルタル</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>歩行者用通路に使用するコンクリート平板は (再生材料を用いた舗装用ブロック) とする。 透水平板は (透水性コンクリート) とする。 仕上がり面の平坦性 ※歩行に支障のないものとし、コンクリート平板間の段差3mm以内</p> <p>・インターロッキングブロック舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>部 位</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>曲げ強度 (N/mm²)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※普通ブロック (N)</td> <td>車路</td> <td>※80</td> <td>※5.0</td> <td>・色彩、表面加工</td> </tr> <tr> <td>・透水ブロック (P)</td> <td>歩行者用通路</td> <td>※80</td> <td>※3.0</td> <td>・標準品</td> </tr> </table> <p>歩道部に使用するブロックは (再生材料を用いた舗装用ブロック) とする。 透水平板は (透水性コンクリート) とする。 仕上がり面の平坦性 ※歩行に支障のないものとし、ブロック間の段差3mm以内</p> <p>・鋪石舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基 層 (mm)</th> </tr> <tr> <td>・小鋪石 (花崗岩)</td> <td>・</td> <td>・80</td> <td>・うろこ張り</td> <td>・コンクリート舗装 (※70)</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・アスファルト舗装 (※50)</td> </tr> </table> <p>仕上がり面の平坦性 ※歩行に支障のないものとし、鋪石間の段差3mm以内 ・ジオテキスタイル 品質 単位面積質量 ・60g/m²以上 厚さ (mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1.5×10⁻⁶cm/sec以上</p> <p>22.9.2 種別 ・A種 (施工範囲： 図示、通路) ・B種 (施工範囲： 図示、建物周囲)</p>	種 類	寸法 (mm)	厚 さ (mm)	目地材	備 考	※普通平板 (N)	※300角	・60	※砂	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し	・透水平板 (P)	・	・	・モルタル	・	種 類	部 位	厚 さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	備 考	※普通ブロック (N)	車路	※80	※5.0	・色彩、表面加工	・透水ブロック (P)	歩行者用通路	※80	※3.0	・標準品	種 類	寸法 (mm)	厚 さ (mm)	施工方法	基 層 (mm)	・小鋪石 (花崗岩)	・	・80	・うろこ張り	・コンクリート舗装 (※70)	・	・	・	・	・アスファルト舗装 (※50)
	種 類	寸法 (mm)	厚 さ (mm)	目地材	備 考																																										
	※普通平板 (N)	※300角	・60	※砂	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し																																										
	・透水平板 (P)	・	・	・モルタル	・																																										
	種 類	部 位	厚 さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	備 考																																										
	※普通ブロック (N)	車路	※80	※5.0	・色彩、表面加工																																										
	・透水ブロック (P)	歩行者用通路	※80	※3.0	・標準品																																										
	種 類	寸法 (mm)	厚 さ (mm)	施工方法	基 層 (mm)																																										
	・小鋪石 (花崗岩)	・	・80	・うろこ張り	・コンクリート舗装 (※70)																																										
	・	・	・	・	・アスファルト舗装 (※50)																																										
8 砂利敷き																																															
9 路面標示用塗料	<p>JIS K 5665 (路面標示用塗料) による</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>施 工</th> <th>適 用</th> <th>色</th> <th>幅 (mm)</th> <th>塗布厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・1種</td> <td>常温</td> <td>液状</td> <td>・白</td> <td>・150</td> <td>・1.0</td> </tr> <tr> <td>・2種</td> <td>加熱</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・100</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・3種1号</td> <td>溶解</td> <td>粉体状</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>低揮発性有機溶剤型の路面標示水性塗料</p>	種 類	施 工	適 用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	・1種	常温	液状	・白	・150	・1.0	・2種	加熱	・	・	・100	・	・3種1号	溶解	粉体状	・	・	・																						
種 類	施 工	適 用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)																																										
・1種	常温	液状	・白	・150	・1.0																																										
・2種	加熱	・	・	・100	・																																										
・3種1号	溶解	粉体状	・	・	・																																										

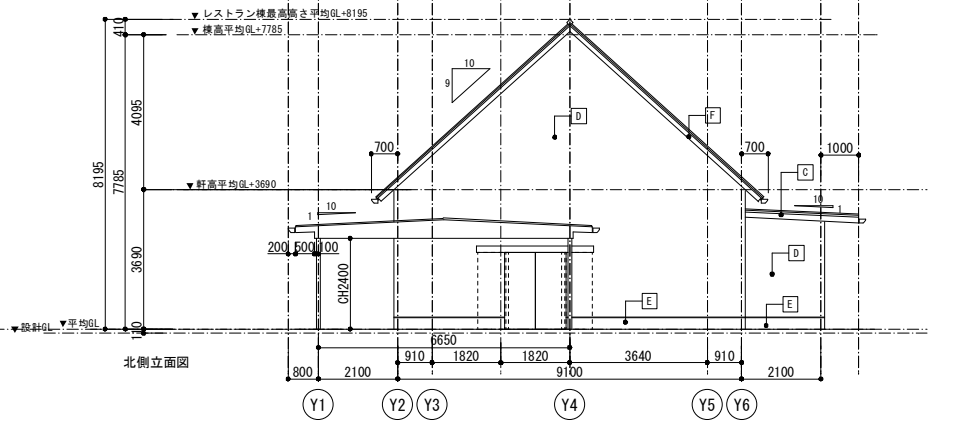
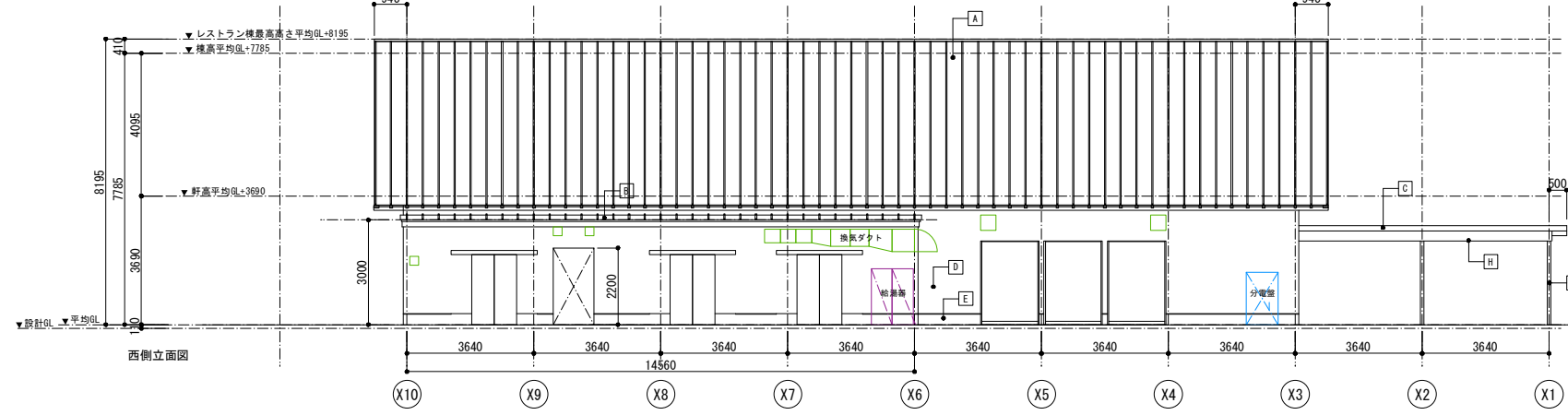
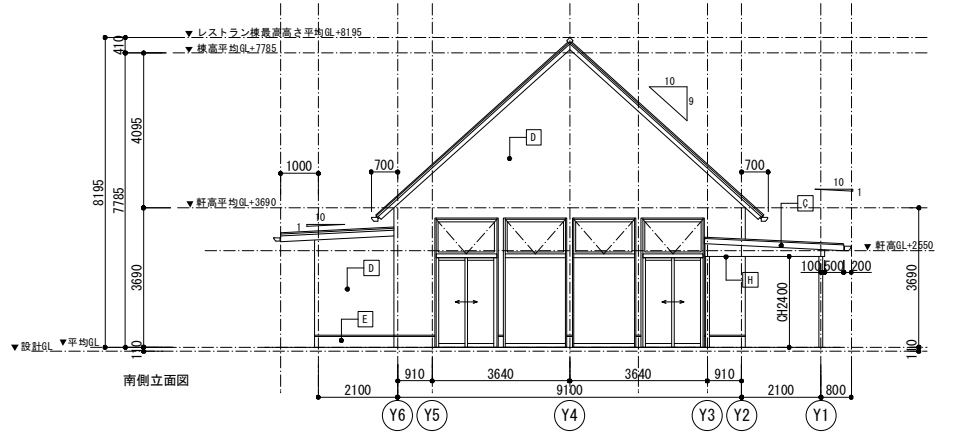
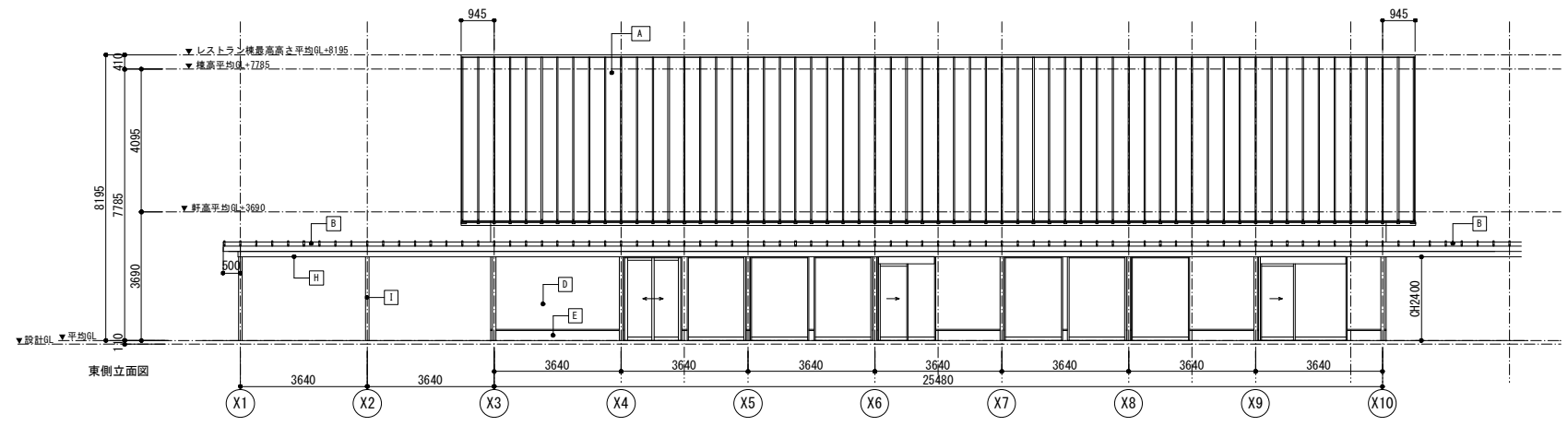
23 植栽及び屋上緑化工事	1 植栽地の確認等 (23.1.3)	<p>土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 行う 行わない 電気伝導度 (EC) の試験 行う 行わない</p>															
	2 植栽基礎の整備 (23.2.2.4)	<table border="1"> <tr> <th>植 栽</th> <th>工 法</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>整備範囲</th> <th>土壌改良材</th> </tr> <tr> <td>・樹木</td> <td>※A種 ・B種 ・C種 ・D種</td> <td>樹高12m以上 (※100・120・150) 樹高7m以上~12m未満 (※80・100) 樹高3m以上~7m未満 (※60・80) 樹高3m未満 (※50・60)</td> <td>・葉張り部分 ・植栽部分</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>※芝、地被類</td> <td>※B種</td> <td>※20</td> <td>・植栽部分 ・図示</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> <p>植栽基礎の排水設備 設ける (※図示) 設けない</p>	植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材	・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 (※100・120・150) 樹高7m以上~12m未満 (※80・100) 樹高3m以上~7m未満 (※60・80) 樹高3m未満 (※50・60)	・葉張り部分 ・植栽部分	・適用する ・適用しない	※芝、地被類	※B種	※20	・植栽部分 ・図示	・適用する ・適用しない
	植 栽	工 法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材												
	・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 (※100・120・150) 樹高7m以上~12m未満 (※80・100) 樹高3m以上~7m未満 (※60・80) 樹高3m未満 (※50・60)	・葉張り部分 ・植栽部分	・適用する ・適用しない												
	※芝、地被類	※B種	※20	・植栽部分 ・図示	・適用する ・適用しない												
	3 植込み用土 (23.2.3)	※現場発生土の良質土 ・寄土															
	4 土壌改良材 (23.2.3)	<p>・バーク堆肥 施工箇所 ※植栽範囲 図示 使用量 植栽基礎面積1㎡あたり (・50 l)</p> <p>・汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) 施工箇所 ※植栽範囲 図示 使用量 植栽基礎面積1㎡あたり (・10 l)</p> <p>材料 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の結果、害が認められないものとする</p>															
	5 樹木 (23.3.2)	樹種、寸法、株立数等 ※図示															
	6 支柱 (23.3.2.3)	支柱材 ※丸太 (間伐材) ・真竹 防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 形式 図示															
	7 幹巻き用材料 (23.3.2)	材料 ※幹巻き用テープ ・わら及びこも															
8 芝 (23.4.2)	<p>種類 ※コウライシバ ・ノシバ 芝張りの工法 平地 ※目地張り 法面 ・目地張り</p>																
9 収付けは種	<table border="1"> <tr> <th>種子の種類</th> <th>発芽率</th> <th>種子の量 (g/m²)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※洋芝類 (採取後2年以内)</td> <td>※発芽率80%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備 考	※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上										
種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備 考														
※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上																
10 地被類	<table border="1"> <tr> <th>樹 種</th> <th>コンテナ径</th> <th>単位面積当たりのコンテナ数</th> <th>芽立数</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	樹 種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数	・	・	・	・	・	・	・	・				
樹 種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数														
・	・	・	・														
・	・	・	・														
11 新植、移植樹木、芝等の枯保証 (23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)	<p>新植樹木 (芝張り、収付けは種及び地被類を含む) の枯保証の期間 ※引渡しの日から1年 無し 移植樹木の枯保証を行う期間 ※引渡しの日から1年 無し</p>																
12 屋上緑化 (23.5.2.3)	<p>植栽基礎及び材料 ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ 図示 排水層 ・軽量骨材 (層の厚さ) ・板状成製品 植込み用土 ※改良土 ・人口軽量土 樹木の樹種並びに種類、寸法、株立数、寸法等 ※図示 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示</p> <p>・屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の 風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない 支柱 ・設置する (形式 図示) かん水装置 ・設置する (種類)</p>																

道の駅発祥の里こうざき新発祥市場棟新築工事			
工事種目	レストラン棟増改築等工事		
図面種別	建築特記仕様書 09		
図面番号	A-10		
縮 尺	NON	内容表示	意匠
令和8年度			
設 計 者	神崎町役場まちづくり課		



外部仕上表

記号	部位	仕上
A	屋根	カラーガルバリウム鋼板t=0.4 瓦葺き@455
B	ポーチ屋根	カラーガルバリウム鋼板t=0.4 縦ハゼ葺き@303
C	基礎	カラーガルバリウム鋼板t=0.4 曲げ加工
D	外壁	木質系繊維混入セメントサイディング t=14 縦貼りの上リシン吹付仕上
E	基礎立上り	コンクリート立ち上りのうえモルタル補修仕上
F	垂木・母屋	木材保護塗料仕上
G	軒裏	野地板表し木材保護塗料仕上
H	ポーチ軒裏	珪酸カルシウム板 t=10 EP塗装仕上
I	ポーチ柱	構造用鋼管パイプφ101.6 SOP塗装仕上
J	軒柱・縦柱	塩ビ製柱 φ80
K		

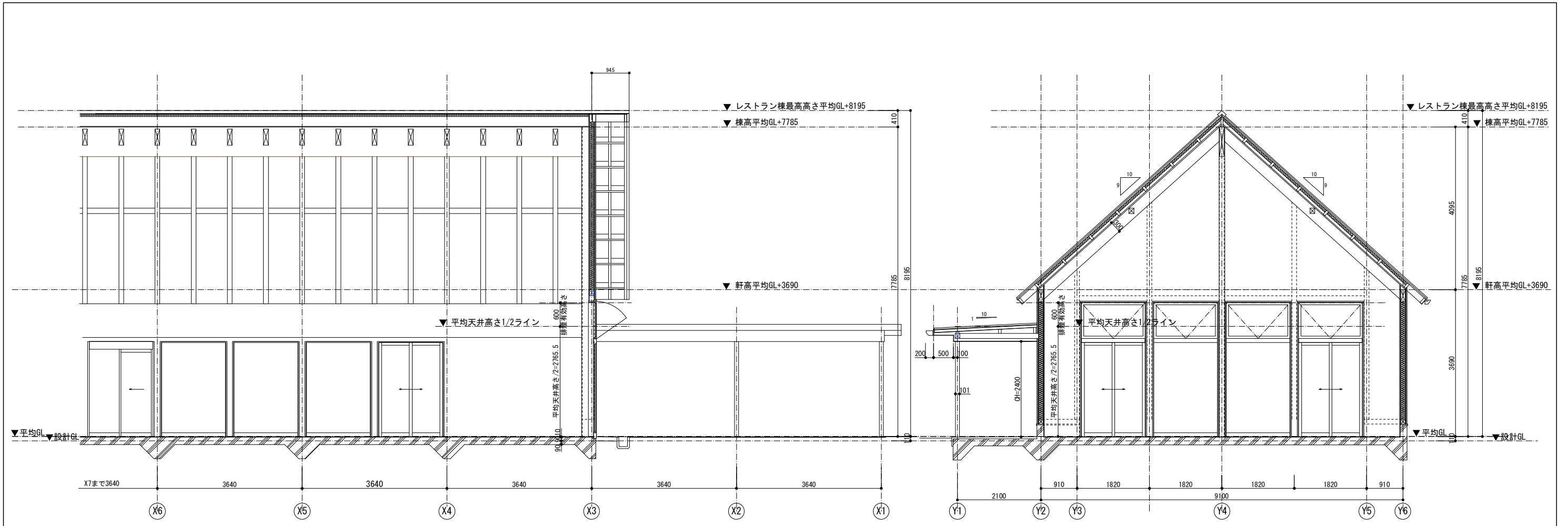


内部仕上表

室名	部位	床	レベル	巾木	壁	壁	天井	天井高	廻縁	備考	室名	部位	床	レベル	巾木	壁	壁	天井	天井高	廻縁	備考	
レストラン店舗	下地	モルタル金網	FL±0	木内木H=40	不燃PB t=12.5	不燃PB t=12.5	珪酸カルシウム板t=6	平均天井高	---	塗り床120×300 不燃塗料仕上	ゴミ庫1-3	下地	モルタル金網	FL±0	モルタル補修/黒地	珪酸カルシウム板t=10	珪酸カルシウム板t=6	CH2200	樹脂	---	---	
	仕上	ウレタン塗装			難燃塗料仕上	不燃クロス貼	不燃クロス貼	CH5535				仕上	ウレタン塗装				VP塗装仕上	VP塗装仕上				
厨房	下地	モルタル金網	FL±0	モルタル	珪酸カルシウム板t=10	珪酸カルシウム板t=6	CH2400	アルミ	---	一部壁面SIS-IC板貼	廊下	下地	モルタル金網	FL±0	モルタル	珪酸カルシウム板t=10	珪酸カルシウム板t=6	CH2400	樹脂	---	---	---
	仕上	黒地仕上			EP塗装仕上	EP塗装仕上				厨房機器別途		仕上	黒地仕上									
廊下	下地	モルタル金網	FL±0	ソフト巾木	不燃PB t=12.5	不燃PB t=12.5	準不燃PB t=9.5	CH2400	樹脂	---	女子トイレ	下地	モルタル金網	FL±0	ソフト巾木	不燃PB t=12.5	不燃PB t=12.5	CH2400	樹脂	---	---	---
	仕上	ウレタン塗装		H=60	不燃クロス貼	不燃クロス貼	不燃クロス貼					仕上	ウレタン塗装		H=60	不燃クロス貼	不燃クロス貼	不燃クロス貼				
男子トイレ	下地	モルタル金網	FL±0	ソフト巾木	不燃PB t=12.5	不燃PB t=12.5	準不燃PB t=9.5	CH2400	樹脂	---	用具庫	下地	モルタル金網	FL±0	モルタル	珪酸カルシウム板t=10	珪酸カルシウム板t=6	CH2200	樹脂	---	---	---
	仕上	長尺塩ビシート貼		H=60	不燃クロス貼	不燃クロス貼	不燃クロス貼			トイレブース 手洗い器、便器(設備)		仕上	ウレタン塗装		モルタル補修/黒地	VP塗装仕上	VP塗装仕上					

道の駅発祥の里こうざき新発群市場棟新築工事

工事種目	レストラン棟増改築等工事		
図面種別	レストラン棟現況図 01		
図面番号	A-11		
縮尺	1/100	内容表示	意匠
	令和8年度		
設計者	神崎町役場まちづくり課		



A-A' 断面図

B-B' 断面図

道の駅発酵の里こうざき新発酵市場棟新築工事			
工事種目	レストラン棟増改築等工事		
図面種別	レストラン棟現況図 02		
図面番号	A-12		
縮尺	1/50 1/100 (A3)	内容表示	意匠
令和8年度			
設計者	神崎町役場まちづくり課		

外部仕上表					
屋根	平面部：構造用合板t=18 (9+9) の上断熱材+塩化ビニル樹脂系シート防水t=2.0(断熱接着工法)+保護塗料仕上 断熱材：硬質ポリウレタンフォーム断熱材 t=50 立ち上り部：構造用合板t=9の上塩化ビニル樹脂系シート防水t=2.0+保護塗料仕上	外構	外部ポーチ	屋根	野地板：構造用合板t=15の上ゴムアスファルトルーフィングt=1.0 カラーガルバリウム鋼板t=0.4立平置き@303 鼻隠：カラーガルバリウム鋼板t=0.4 曲げ加工
外壁	構造用合板t=9の上透湿防水シート+通気胴縁t=18(外壁通気工法)縦貼り木質系繊維混入セメント珪酸カルシウム板t=14の上可とう系外装薄塗り材(屋内側被覆) 断熱材GWt=100(24K)防湿ポリエチレンフィルム付+不燃PBt=12.5 土台通気見切り：アルミ押出成形品			軒裏	LGS下地 珪酸カルシウム板t=10 EP塗装仕上 (仕上、形状は既存ポーチに仕様合わせる)
基礎立上がり	コンクリート打ち放し全面モルタル補修			柱	構造用鋼管の上ポリウレタン塗装仕上 (仕上げは既存ポーチに仕様合わせる)
外部建具	ビル用アルミサッシ：二次電解着色仕上げ (FIX窓、排煙窓) ガラス：Low-E複層ガラス (建具表参照) アルミ両引き上吊りドア：二次電解着色仕上			床	モルタル金鏝の上ウレタン塗床仕上 (仕上げは既存ポーチに仕様合わせる)
笠木	既成アルミ押出成形品			軒樋	メタリック調塩ビ製軒樋
大型庇	既成アルミ庇 アルミ押出成形品+LED照明付き ((株)共和/アルフィンAD2同等)			縦樋	メタリック調塩ビ製樋 φ60
縦樋	メタリック調塩ビ製樋 φ75				
節折	既成SUS-HL仕上				
横引きドレイン	木付鋳鉄製横引きドレイン φ75 シート防水用				
		その他	断熱材	外壁面：ポリエチレンフィルム付グラスウール24K t=100 屋根面：硬質ポリウレタンフォーム断熱材t=50 天井裏：ポリエチレンフィルム付きグラスウール24K t=50	
				シール	鋼製建具取合い箇所：一液性ポリサルファイド系
				EXP.J	外部用：アルミ押し出し成形品 (クリアランス100) 内部用：熱可塑性ゴム (クリアランス100)

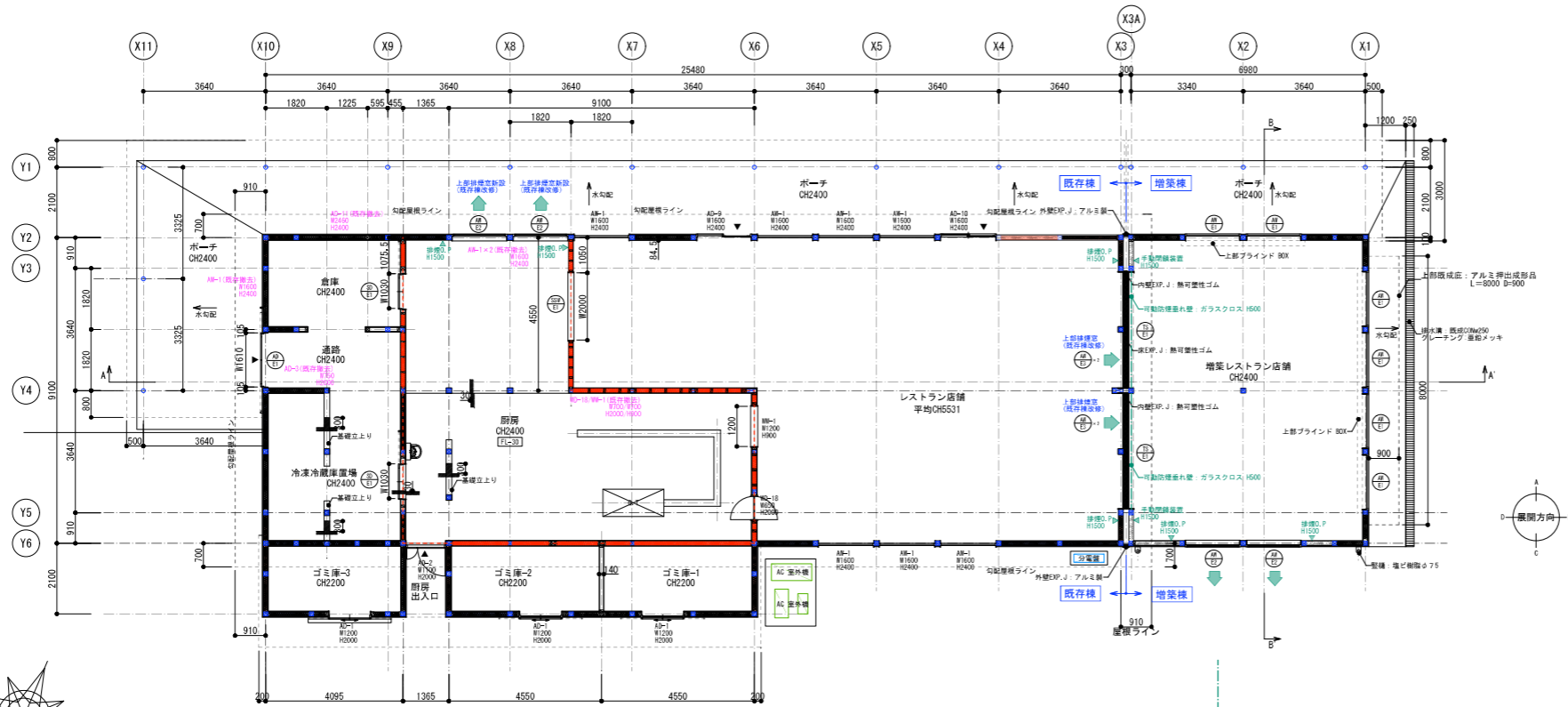
耐火等リスト

防火構造 <法2条8> <令108条> <H12建告1359号>	外壁(耐力壁)	木製下地	屋外側 屋内側	<PC030BE-9201>	木製下地@500の上透湿防水シート+通気胴縁t=18(外壁通気工法)縦貼り木質系繊維混入セメント珪酸カルシウム板t=14の上可とう系外装薄塗り材 断熱材GWt=100(24K)+不燃石膏ボード t=12.5 <NM-8619> 間柱@600以下
	外壁(非耐力壁)	木製下地	屋外側 屋内側	<PC030BE-9201>	木製下地@500の上透湿防水シート+通気胴縁t=18(外壁通気工法)縦貼り木質系繊維混入セメント珪酸カルシウム板t=14の上可とう系外装薄塗り材 断熱材GWt=100(24K)+不燃石膏ボード t=12.5 <NM-8619> 間柱@600以下
	軒裏	外壁で小屋裏等遮られているものを除く。			
大規模の木造建築物等の外壁等 <法25> <令109の8条> <H12建告1361号> <H12建告1365号>	屋根		法22条に適合	防火認定：DR-1817(1)	構造用合板t=18 (9+9) の上断熱材+塩化ビニル樹脂系シート防水(断熱接着工法)+保護塗料仕上
	外壁	延焼のおそれのある部分	防火構造に適合	<PC030BE-9201>	木製下地@500の上透湿防水シート+通気胴縁t=18(外壁通気工法)縦貼り木質系繊維混入セメント珪酸カルシウム板t=14の上可とう系外装薄塗り材 断熱材GWt=100(24K)+不燃石膏ボード t=12.5 <NM-8619> 間柱@600以下
防火区画 <法35条> <令112条2項>					
防火上主要な間仕切壁 <令114条>	LGS下地または木造@455 強化石膏ボード t=12.5 両面貼り <QF045BP-9071>				

内装制限	居室	壁・天井	難燃 (※消防屋内消火栓倍読)		
	通路・階段	壁・天井	難燃 (※消防屋内消火栓倍読)		
	無窓居室 (排煙無窓) 床面積>50㎡	壁・天井	準不燃		
	火気使用室	壁・天井	準不燃		
排煙免除	非居室	H12建告1436号 4-二(2)	防煙壁(H=500以上)	不燃石膏ボード t=12.5<NM-8619>両面貼 仕上材：不燃 不燃石膏ボード t=15.0<NM-8619>両面貼 仕上材：不燃	

特記事項	・令114条区画部分の貫通前後1M以内耐火被覆管とする。				
	・令114条区画部分のダクト貫通部分はFD付とする。				
	・令114条区画壁の取り合い部分は、認定仕様及びメーカー仕様に準ずる。				
	・延焼の恐れのある部分に面するベントキャップはSUSとしFD付きとする。				
	・記載メーカー品番は全て同等品とする				
	・法28条の2に定める有害物質を含む建材を使用しない。				
	・建築材料はJIS・JAS適合品又は大臣認定品を使用する。				
	・カーテン、カーベットの防炎物品とする。				
	・内装仕上に使用する材料、接着剤、断熱材、合板、塗料等は全て「F☆☆☆☆」以上とする。				
	・既存部分の部分的な改修は、基本的に既存の材料、工法、防火仕様に合わせ改修を行うこと。				

令和8年度			
設計者 神崎町役場まちづくり課			
道の駅発祥の里こうざき新発祥市場棟新築工事			
工事種目	レストラン棟増改築等工事		
図面種別	レストラン棟 外部仕上表/耐火等リスト		
図面番号	A-13		
縮尺	NON	内容表示	意匠



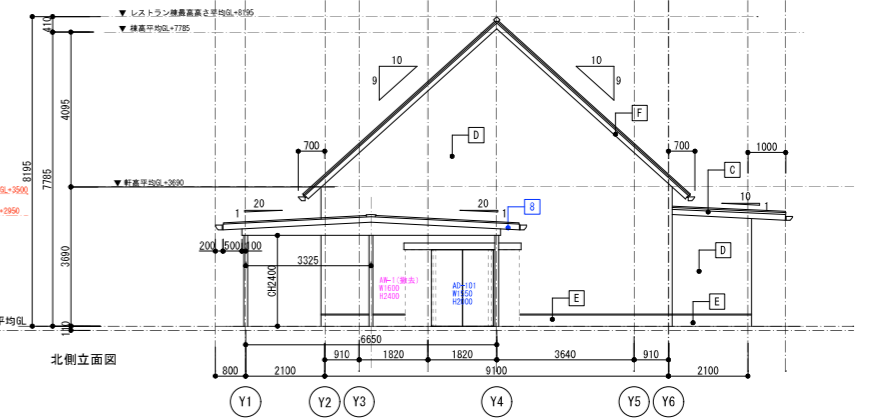
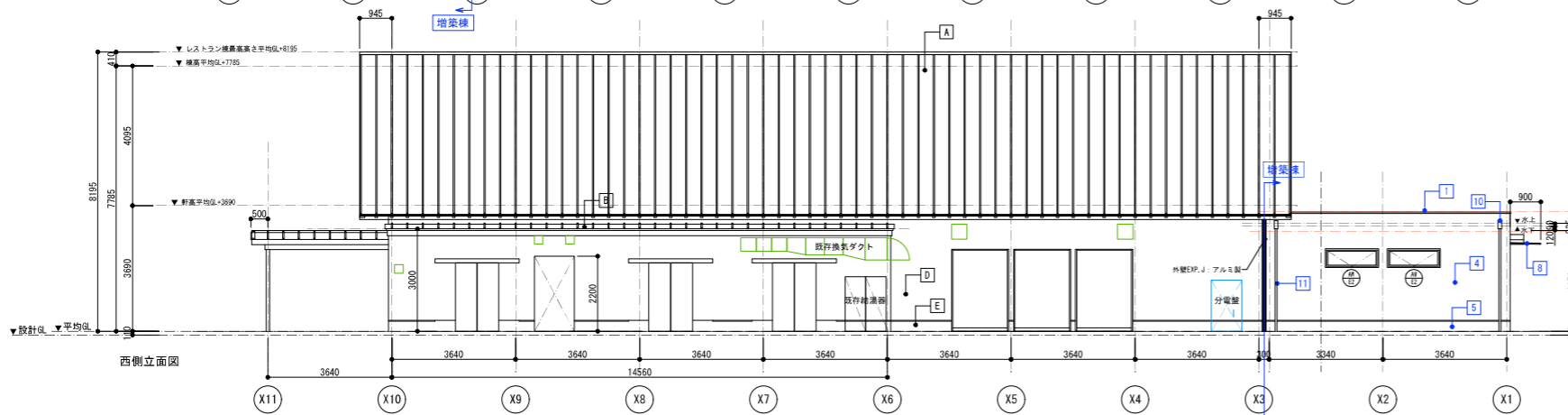
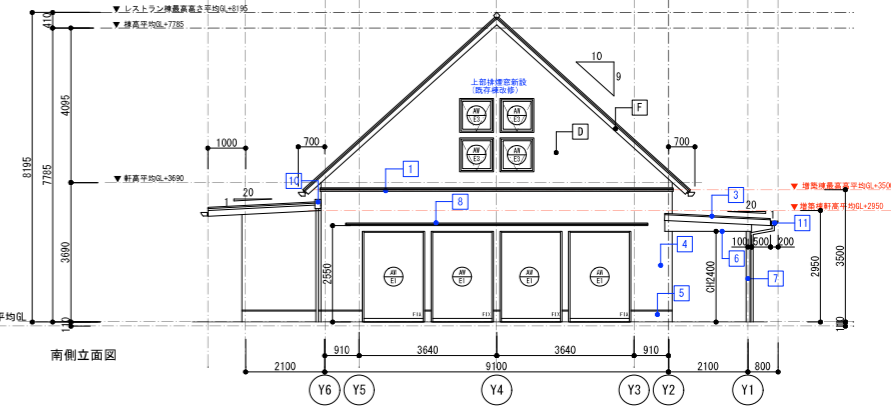
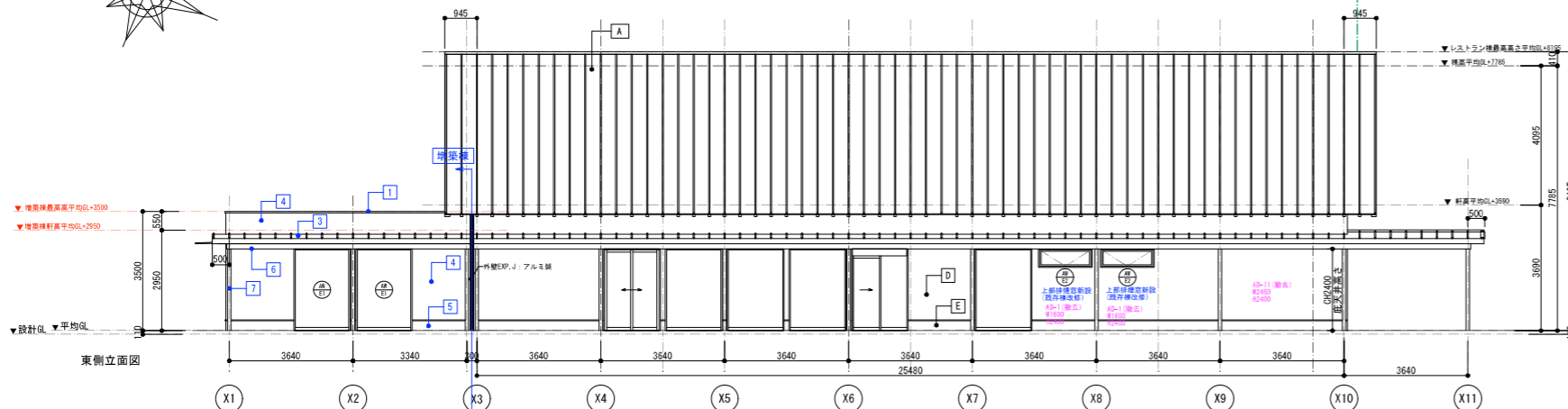
既存部外部仕上リスト

記号	部位	仕上
A	屋根	カラーガルバリウム鋼板 $t=0.4$ 瓦葺き $\phi 455$
B	ポーチ屋根	カラーガルバリウム鋼板 $t=0.4$ 葺き $\phi 303$
C	鼻隠し	カラーガルバリウム鋼板 $t=0.4$ 曲げ加工
D	外壁	木質系繊維混入セメントサイディング $t=14$ 縦筋のり上りシン吹付仕上
E	基礎立上り	コンクリート立ち上りのうえモルタル掃き仕上
F	窗木・母屋	木材保護塗料仕上
G	軒裏	野地板表し木材保護塗料仕上
H	ポーチ軒裏	珪酸カルシウム板 $t=10$ EP塗膜仕上
I	ポーチ柱	構造用鋼管 $\phi 101.6$ SGP塗装仕上
J	軒縁・縦縁	塩ビ製縁 $\phi 60$

増築部外部仕上リスト

記号	部位	仕上
1	笠木	既成アルミ押出成形品 アルマイト仕上
2	屋根	構造用合板 $t=9$ の上断熱材+強化ビニル樹脂系シート防水+保護塗料仕上 断熱材: 硬質ポリウレタンフォーム断熱材 $t=50$ (断熱接着工法)
3	ポーチ屋根	カラーガルバリウム鋼板 $t=0.4$ 葺き $\phi 303$
4	外壁	(外装施工法) 構造用合板 $t=9$ の上透湿防水シート+透気繊維 $t=18$ 縦筋り木質系繊維混入セメント珪酸カルシウム板 $t=14$ の上可とう系外装薄塗り材
5	基礎立上り	コンクリート立ち上りのうえモルタル掃き仕上
6	ポーチ軒裏	珪酸カルシウム板 $t=10$ EP塗膜仕上 (既存ポーチに仕様合わせる)
7	ポーチ柱	構造用鋼管 $\phi 101.6$ SGP塗装仕上 (既存ポーチに仕様合わせる)
8	既成庇	アルミ押出成形品 $L=8000$ $D=900$ $L=2100$ $D=900$
9	ドレイン	木付排水機引きドレイン $\phi 75$ シート防水用
10	飾り枘	SUS-丸仕上
11	軒縁・縦縁	メタリック調塩ビ製縁 $\phi 60$

--- 防火上主要な間仕切り (令114条)



令和8年度

設計者 神崎町役場まちづくり課

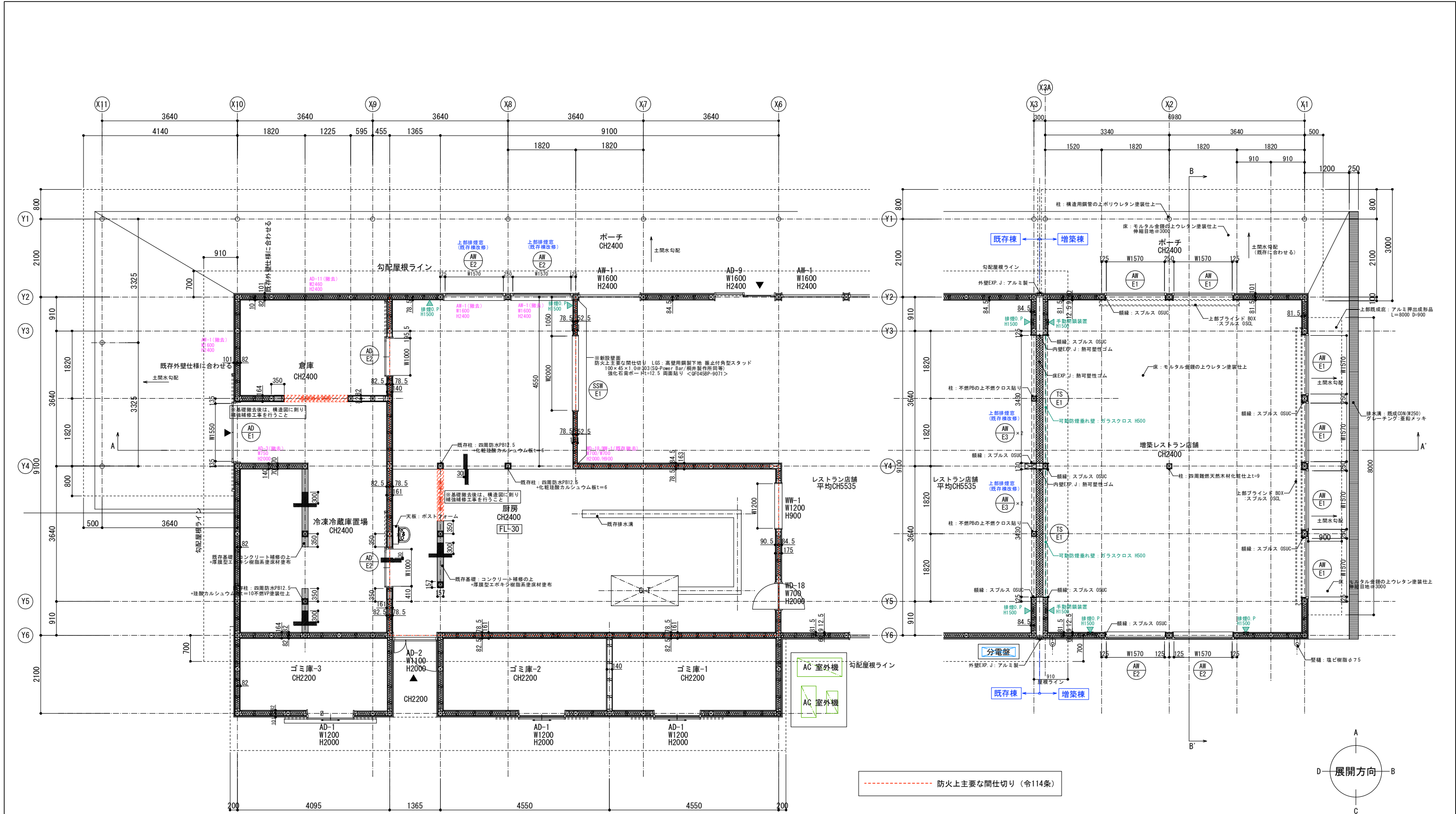
道の駅発酵の里こうざき新発群市場棟増築等工事

工事種目 レストラン棟増築等工事

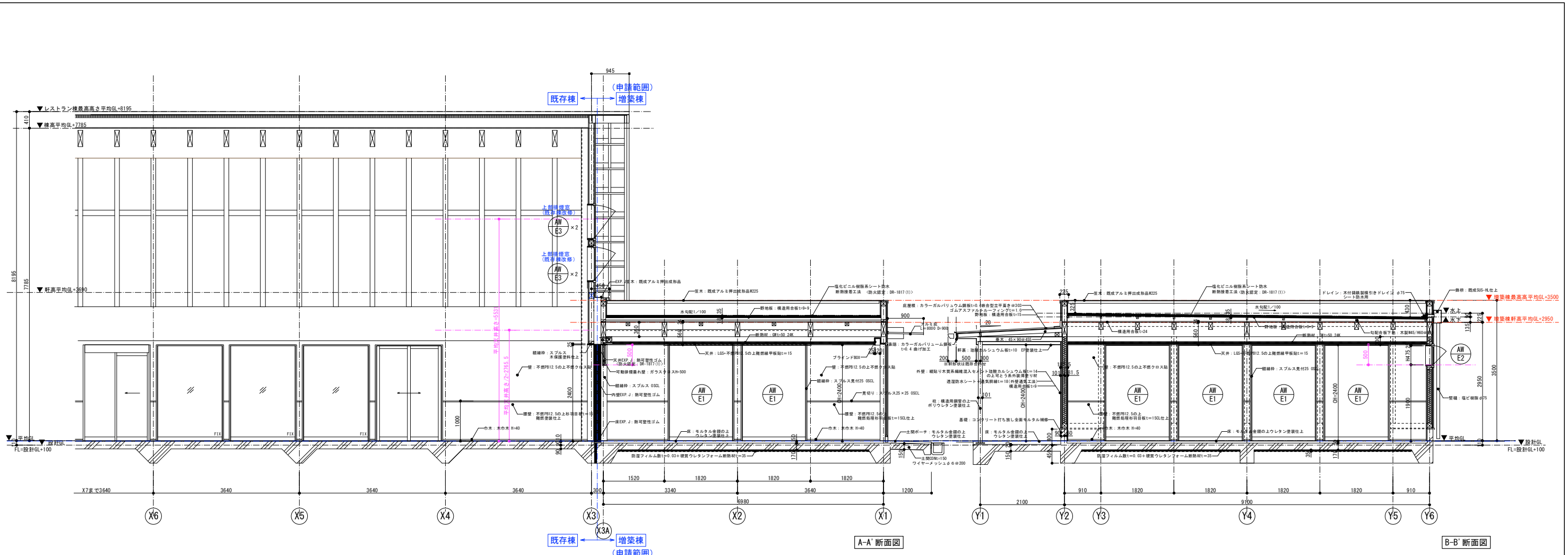
図面種別 レストラン棟 平面図/立面図

図面番号 A-15

縮尺 1/100 内容表示 意匠

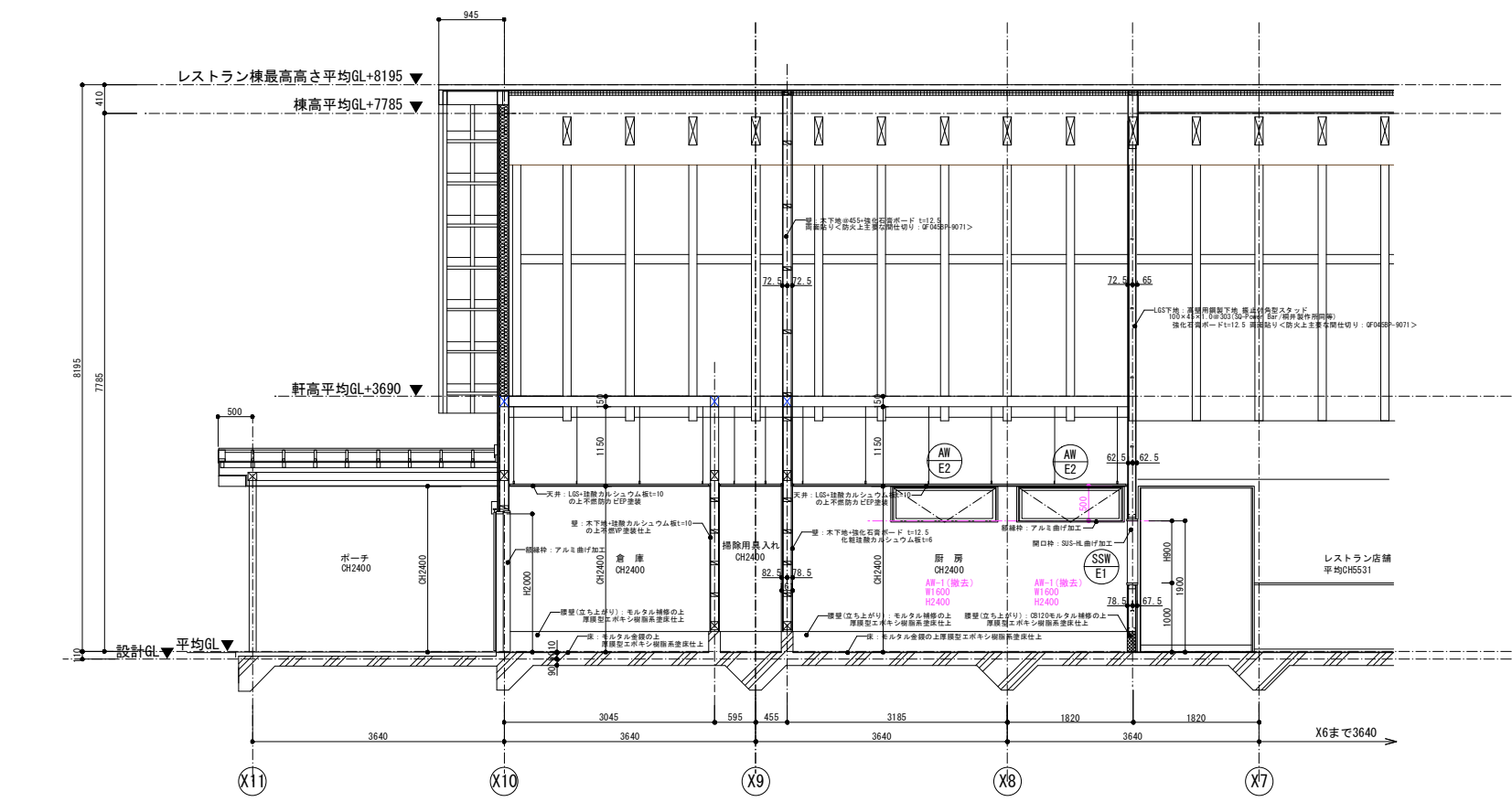


道の駅発酵の里こうざき新発酵市場棟新築工事			
工事種目	レストラン棟増改築等工事		
図面種別	レストラン棟 平面詳細図		
図面番号	A-16		
縮尺	1/50	内容表示	意匠
	1/100(A3)		
令和8年度			
設計者	神崎町役場まちづくり課		



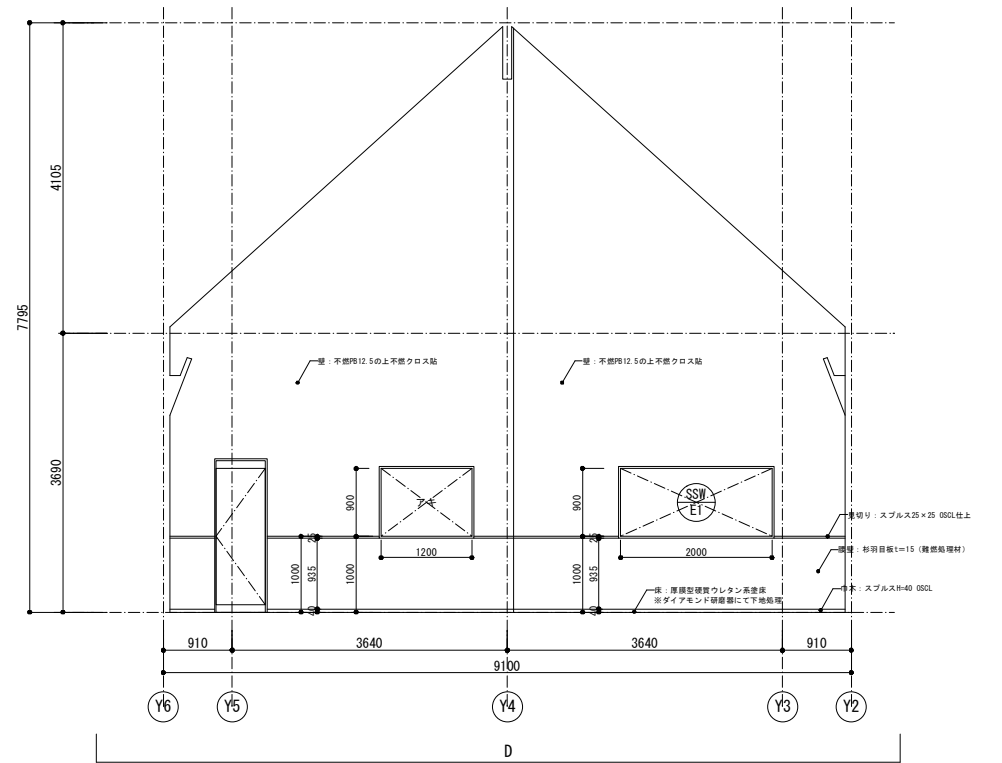
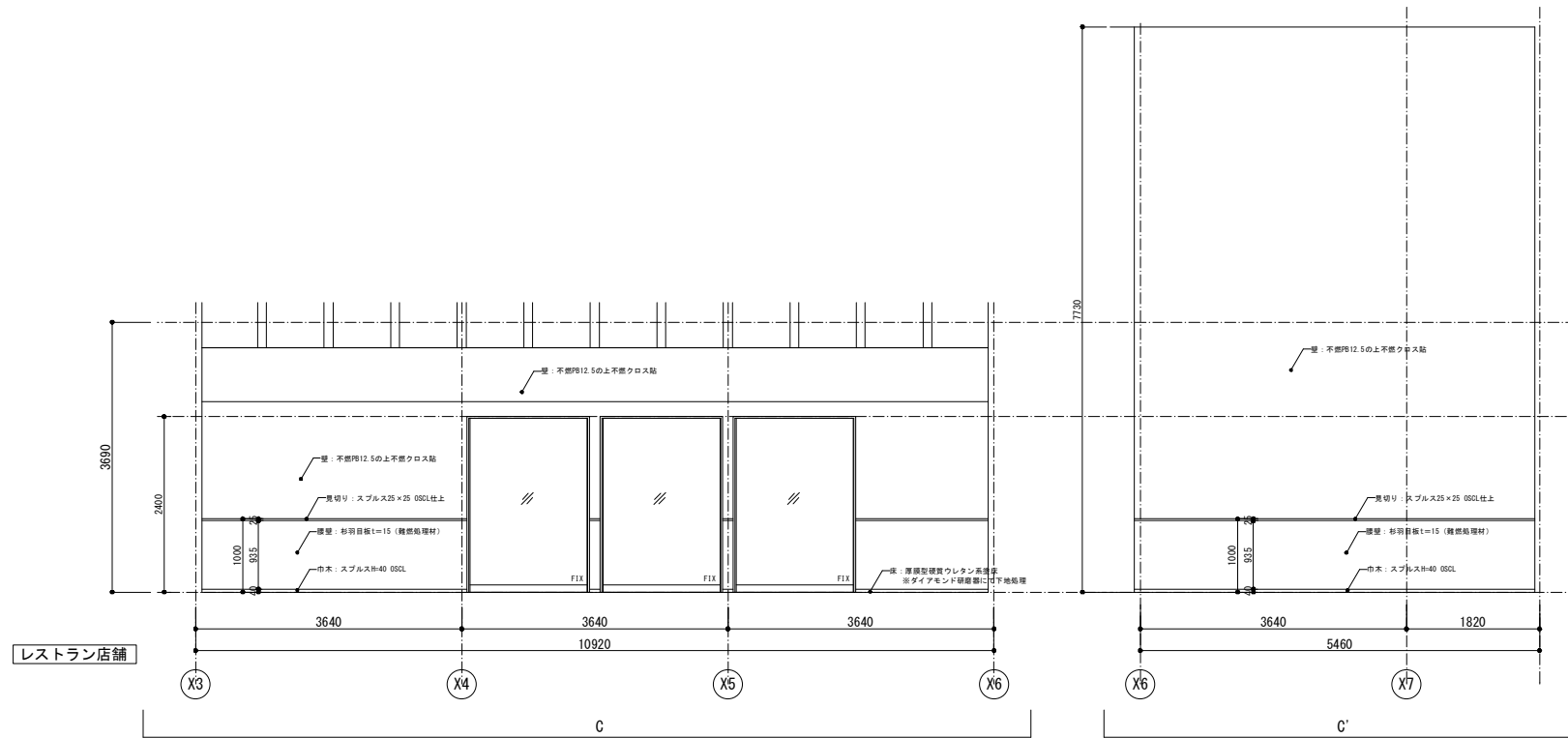
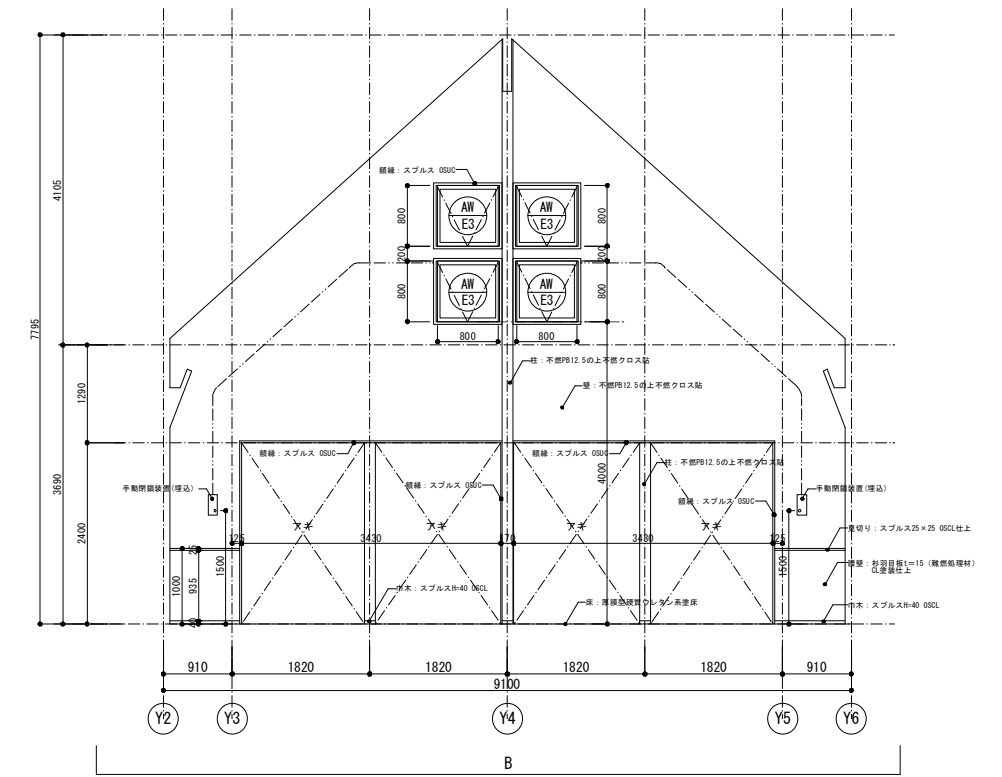
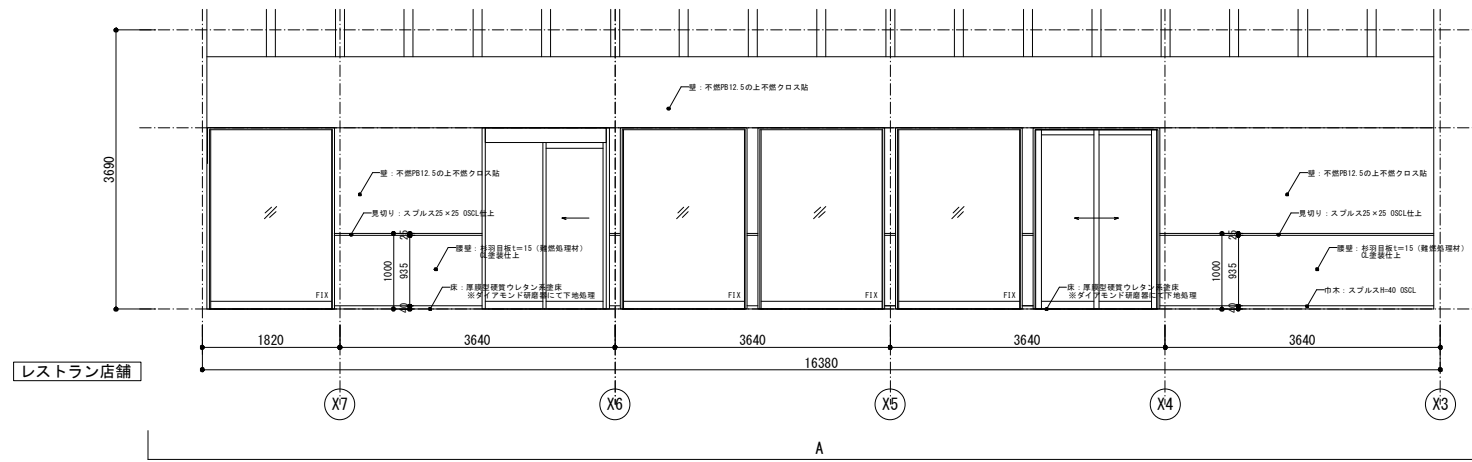
A-A' 断面図

B-B' 断面図

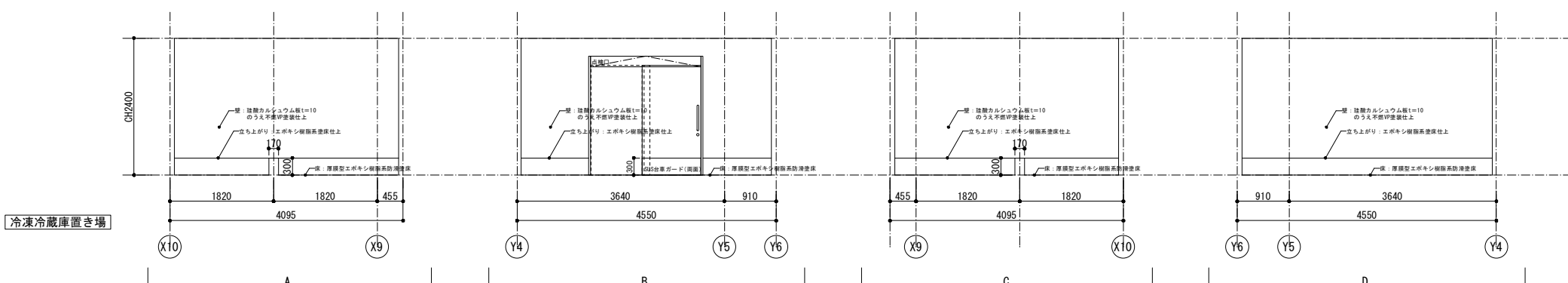
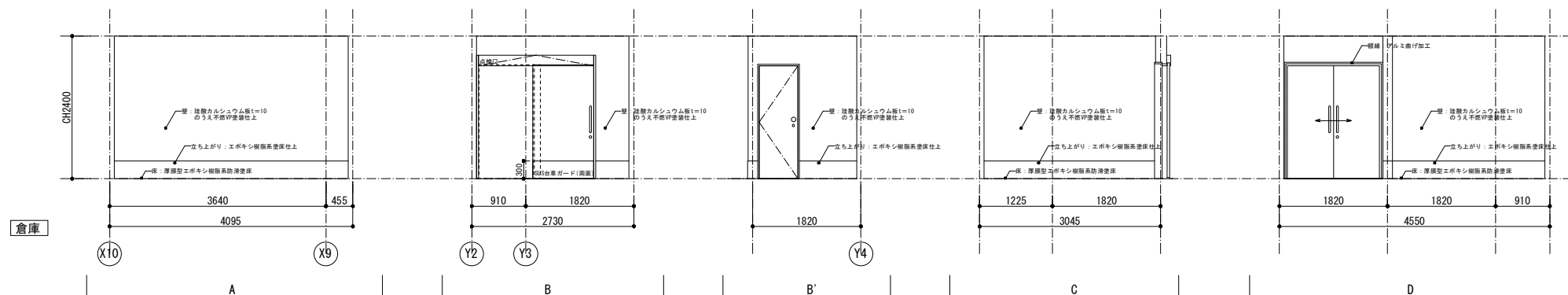
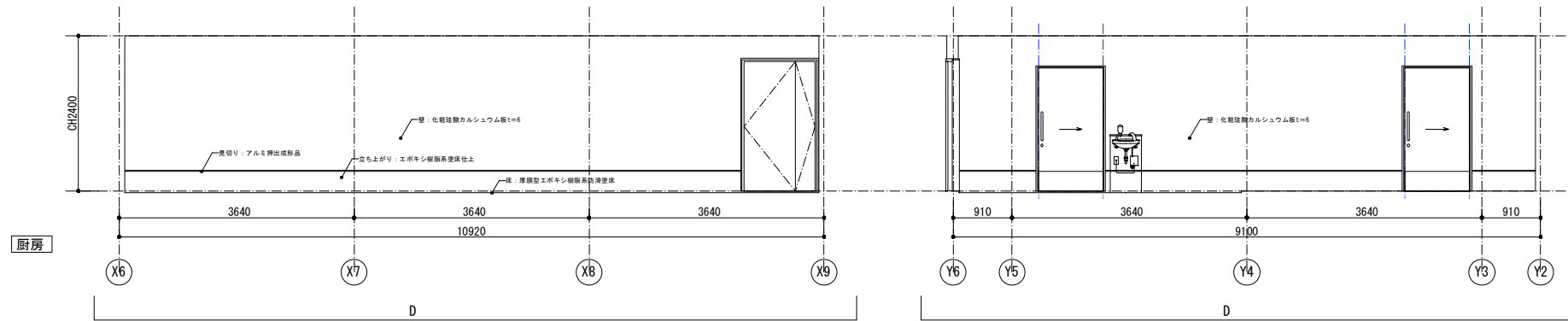
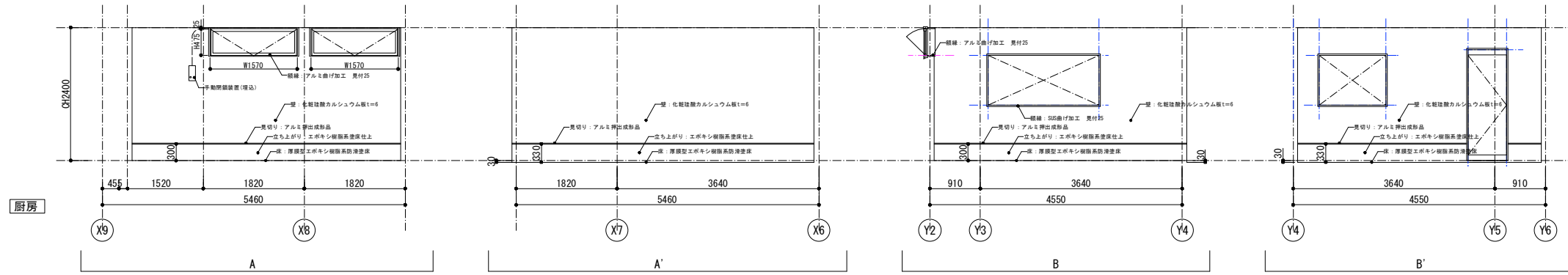


A-A' 断面図

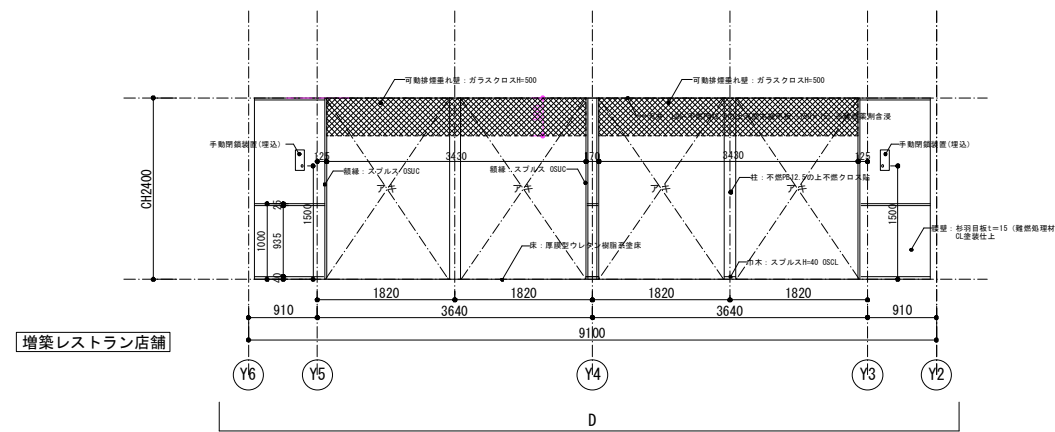
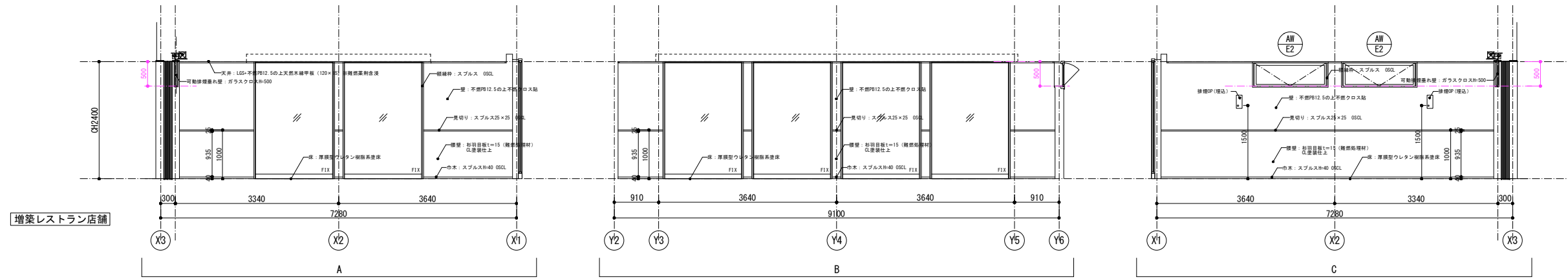
道の駅発酵の里こうざき新発酵市場棟新築工事			
工事種目	レストラン棟増改築等工事		
図面種別	レストラン棟 断面詳細図		
図面番号	A-17		
縮尺	1/50 1/100(A3)	内容表示	意匠
令和8年度			
設計者	神崎町役場まちづくり課		



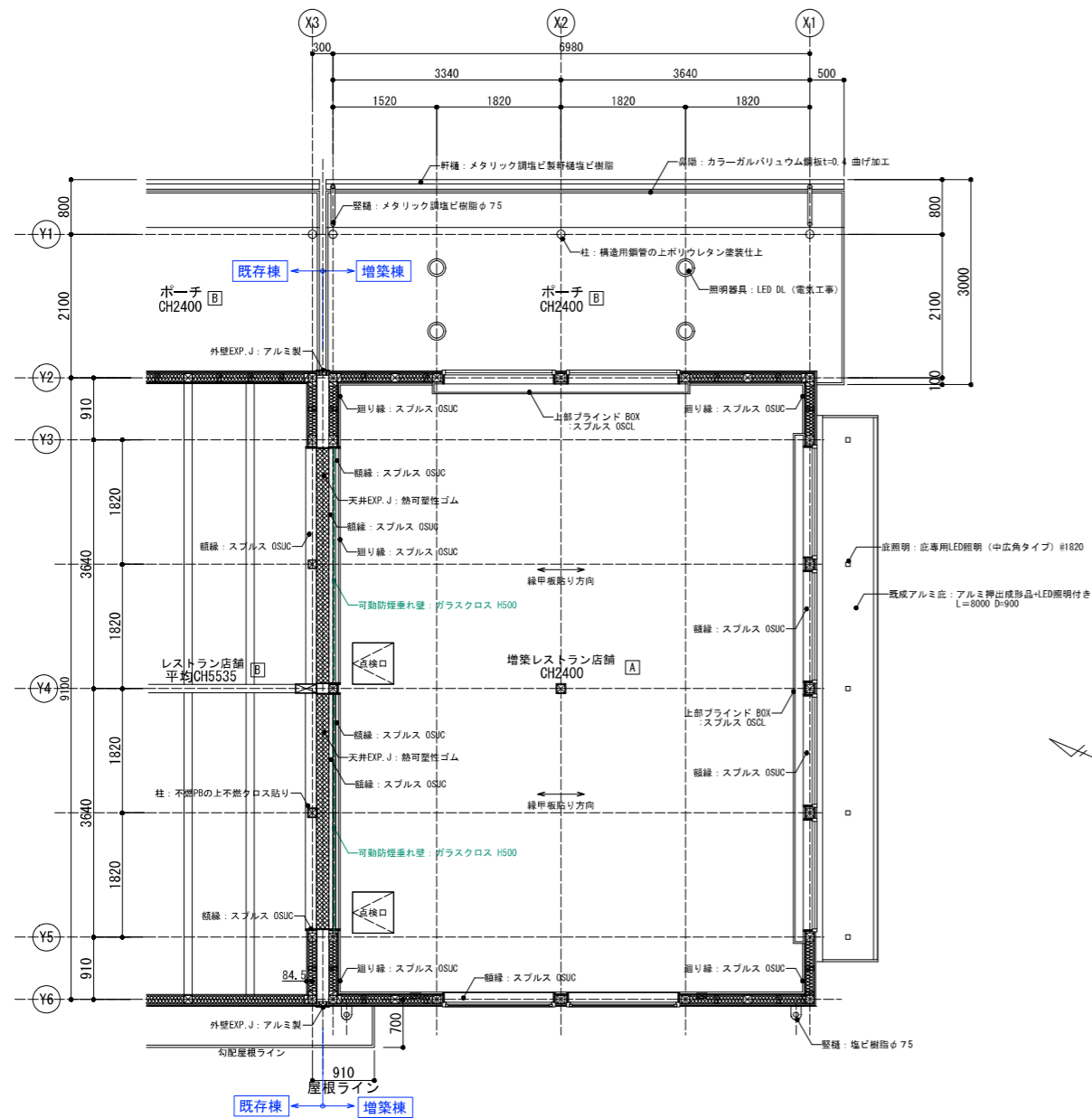
道の駅発酵の里こうざき新発酵市場棟新築工事			
工事種目	レストラン棟増改築等工事		
図面種別	レストラン棟 展開図01		
図面番号	A-18		
縮尺	1/50	内容表示	意匠
	1/100(A3)		
令和8年度			
設計者	神崎町役場まちづくり課		



道の駅発酵の里こうざき新発酵市場棟新築工事			
工事種目	レストラン棟増改築等工事		
図面種別	レストラン棟 展開図02		
図面番号	A-19		
縮尺	1/50	内容表示	意匠
	1/100(A3)		
令和8年度			
設計者	神崎町役場まちづくり課		



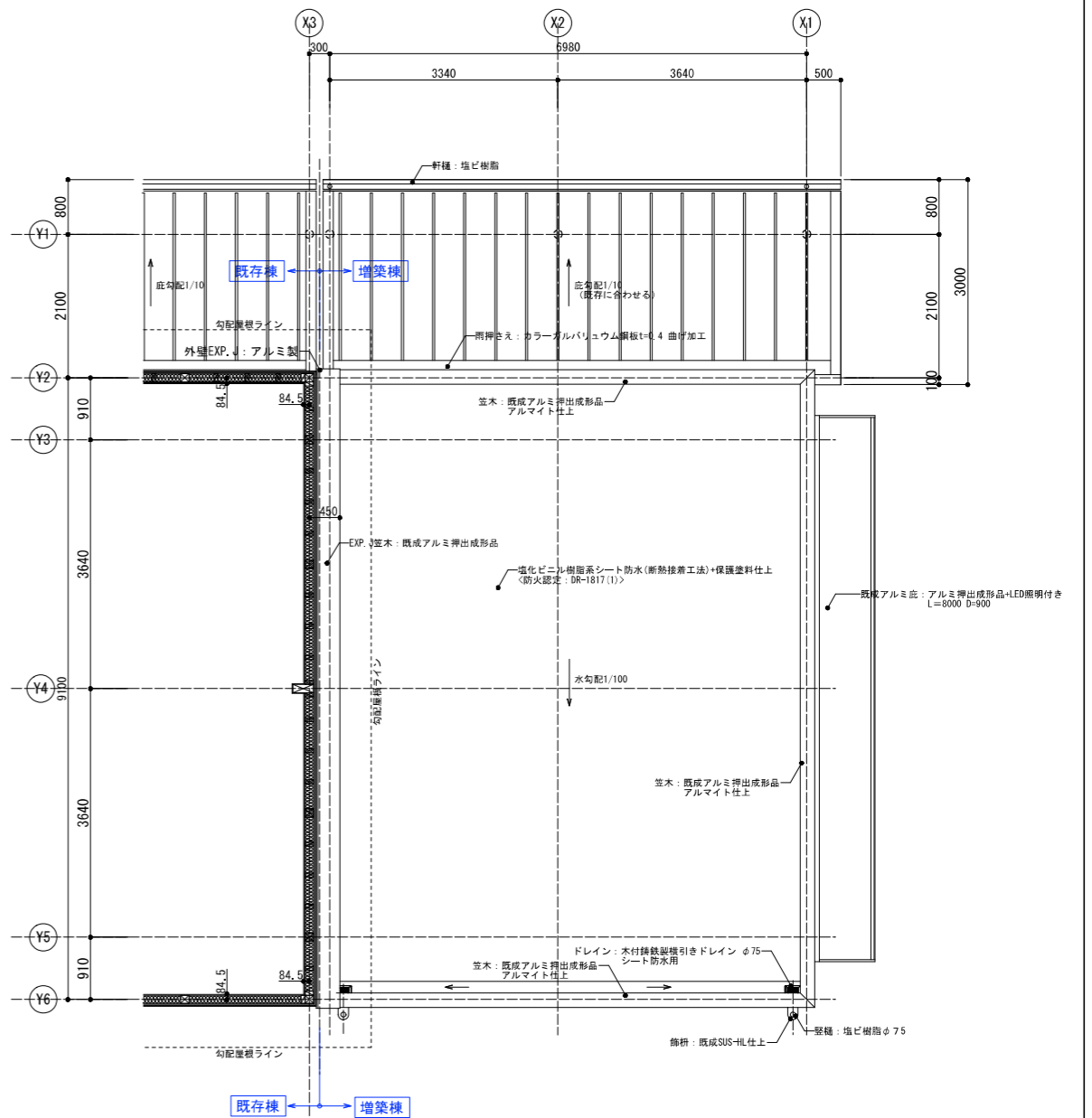
道の駅発酵の里こうざき新発酵市場棟新築工事			
工事種目	レストラン棟増改築等工事		
図面種別	レストラン棟 展開図03		
図面番号	A-20		
縮尺	1/50	内容表示	意匠
	1/100(A3)		
令和8年度			
設計者	神崎町役場まちづくり課		



天井伏図 1/50

天井仕上リスト

記号	仕上
[A]	LGS-不燃PB12.5の上層燃線甲板貼t=15
[B]	LGS-珪酸カルシウム板t=10 EP塗装仕上
[C]	

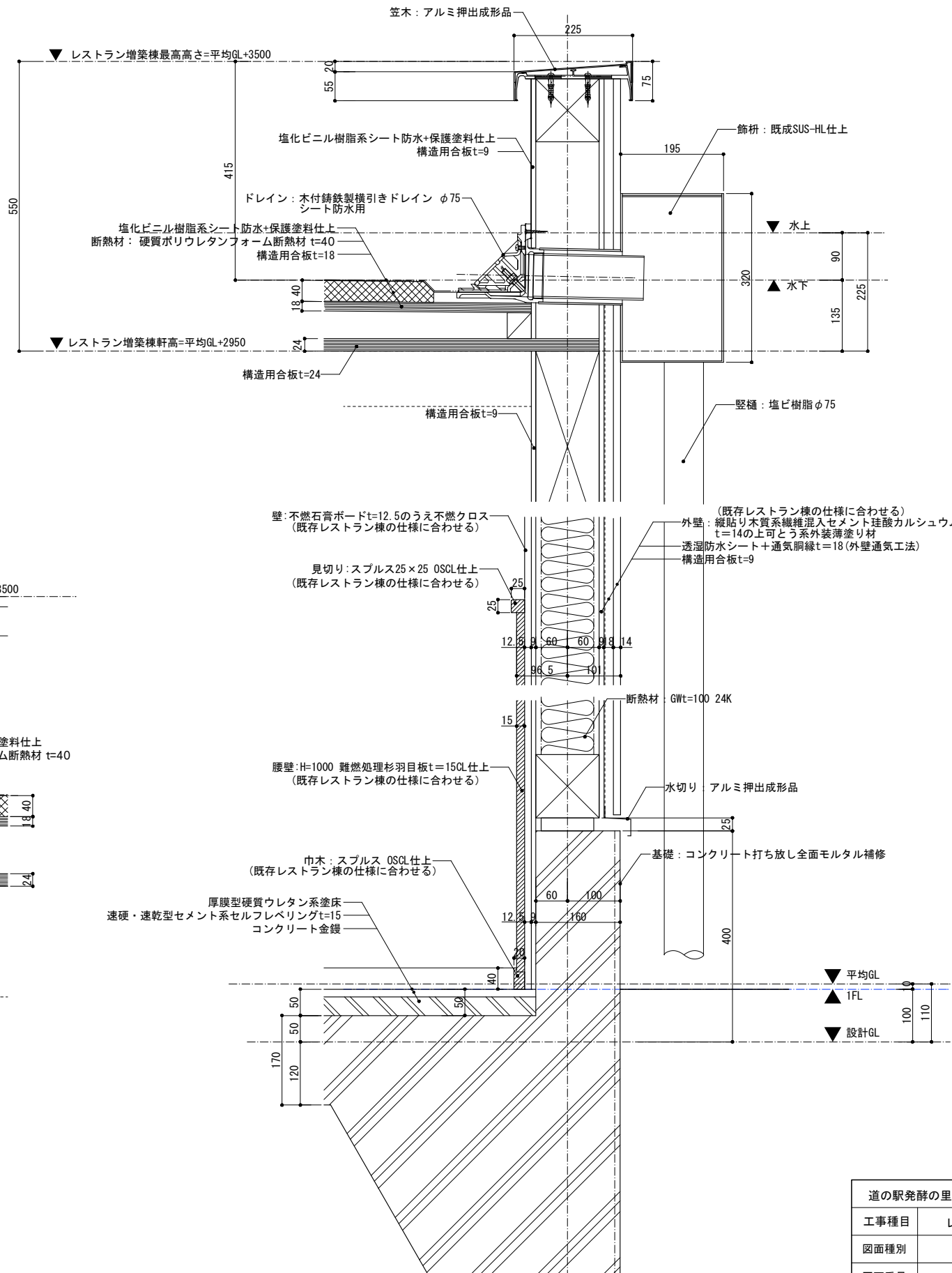
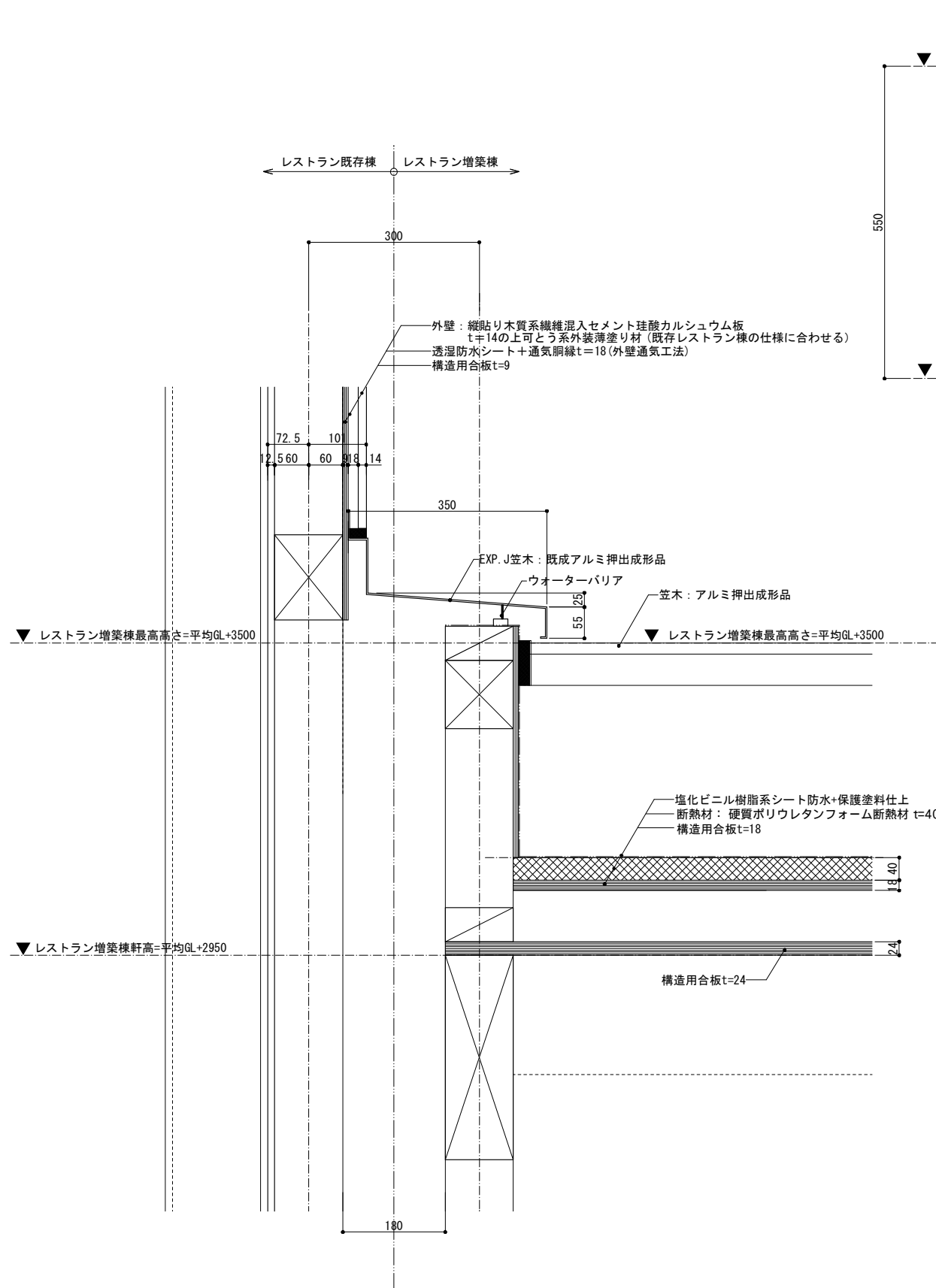


屋根伏図 1/50

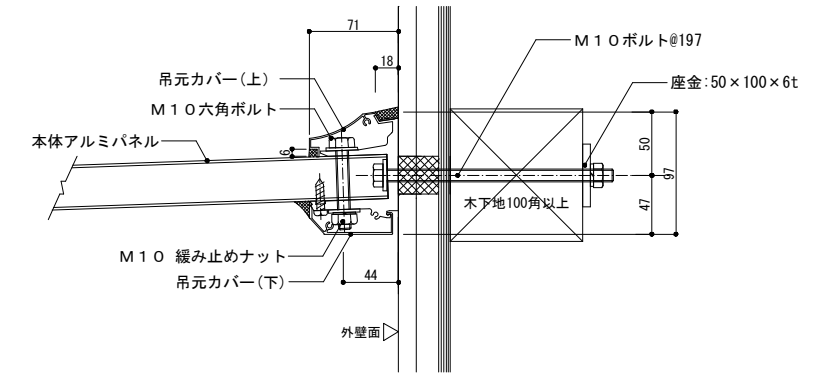
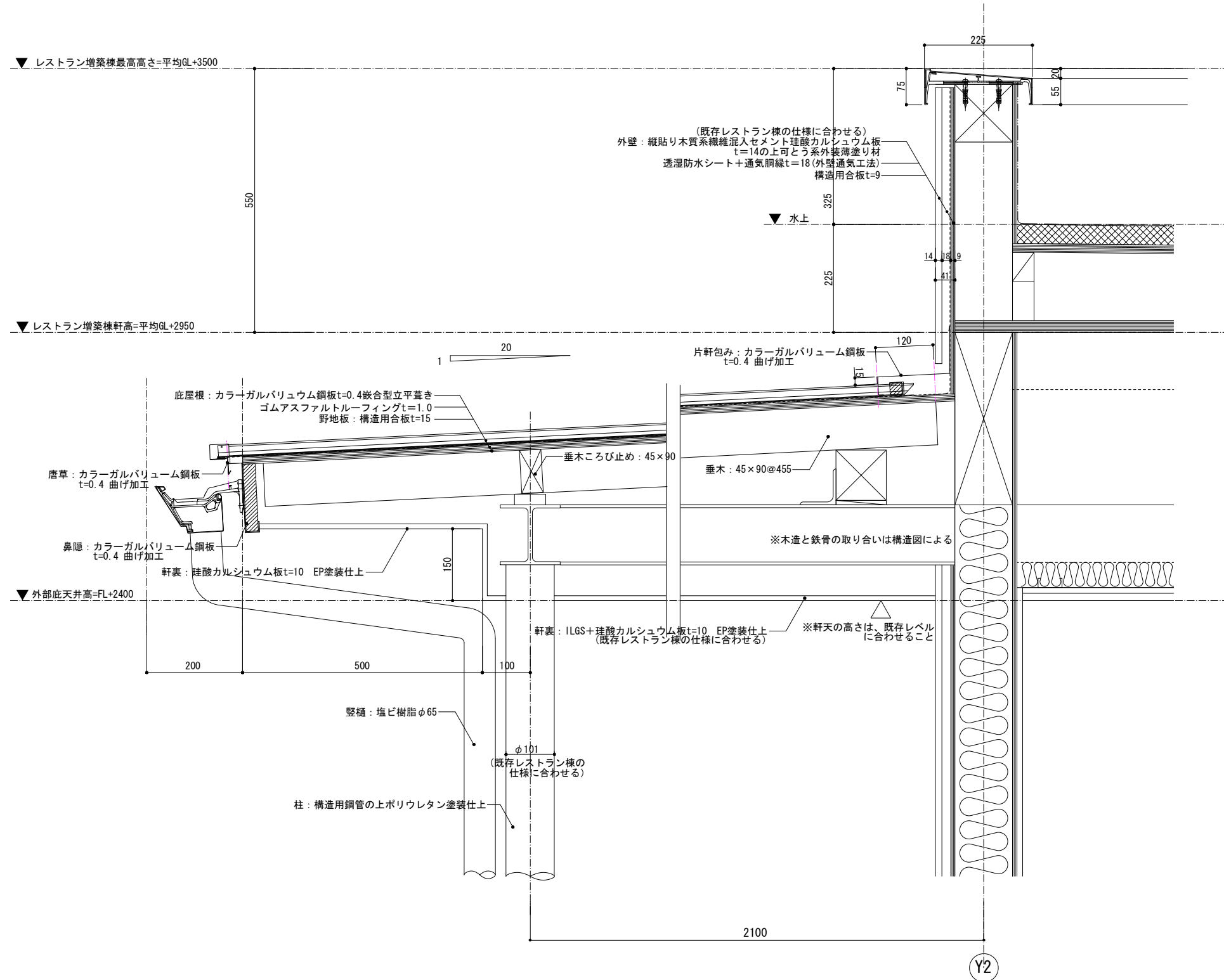
令和8年度
 設計者 神崎町役場まちづくり課

道の駅発酵の里こうざき新発酵市場棟新築工事			
工事種目	レストラン棟増改築等工事		
図面種別	レストラン棟 屋根伏図/天井伏図		
図面番号	A-21		
縮尺	1/50	内容表示	意匠

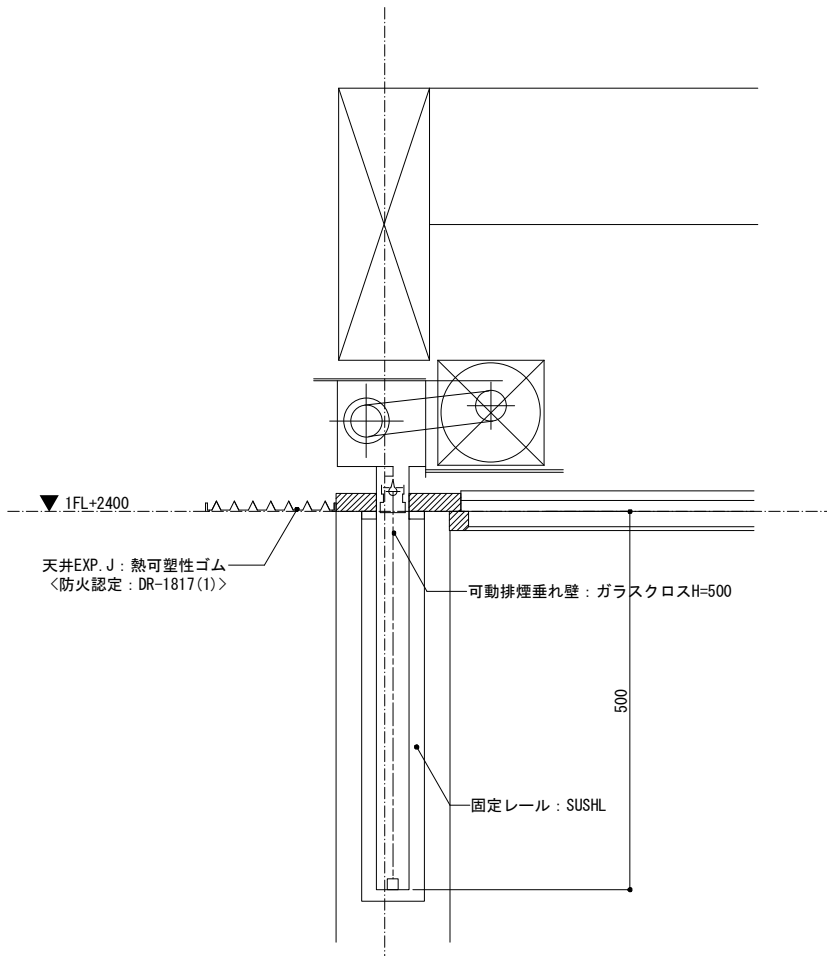
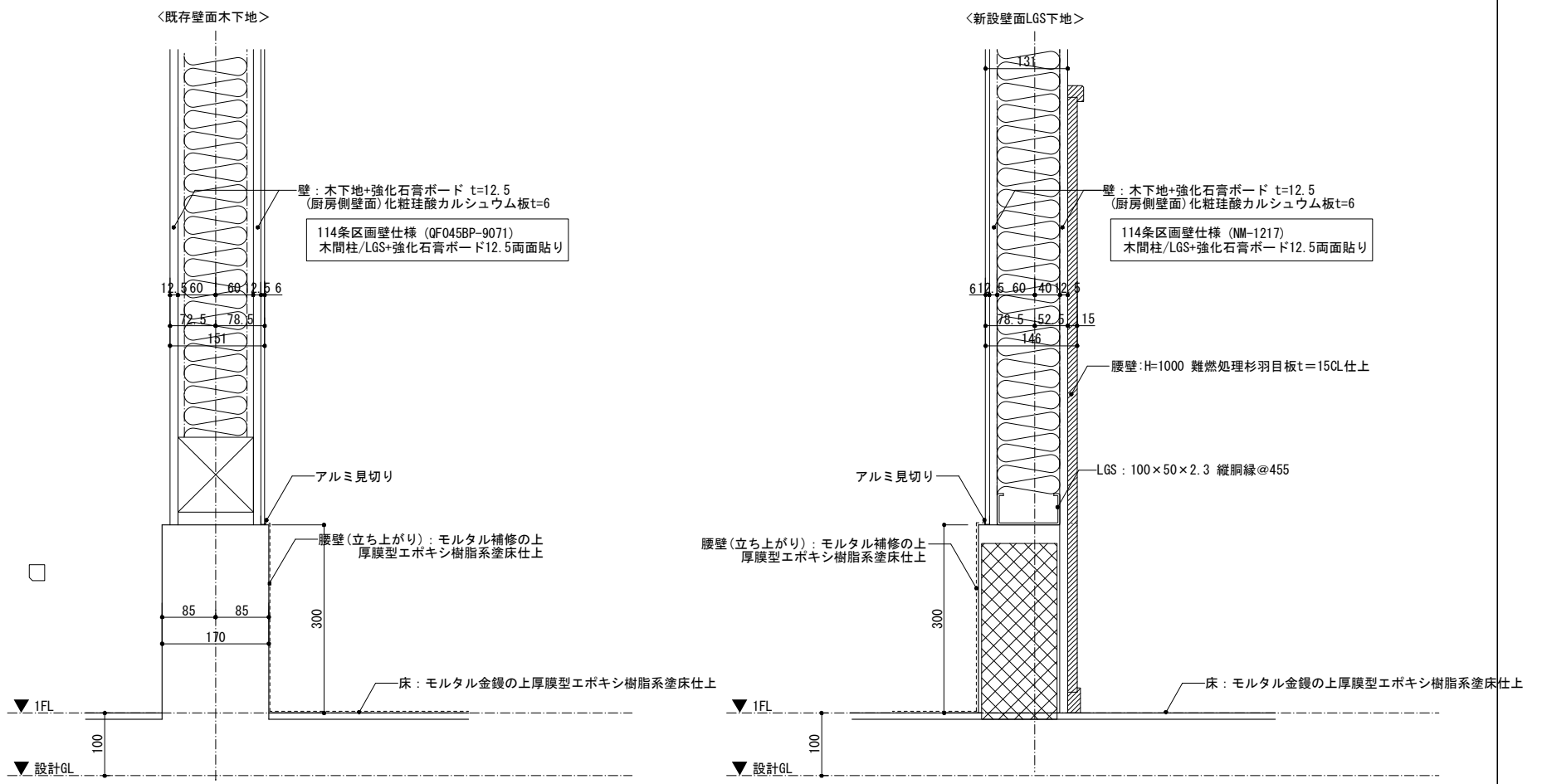
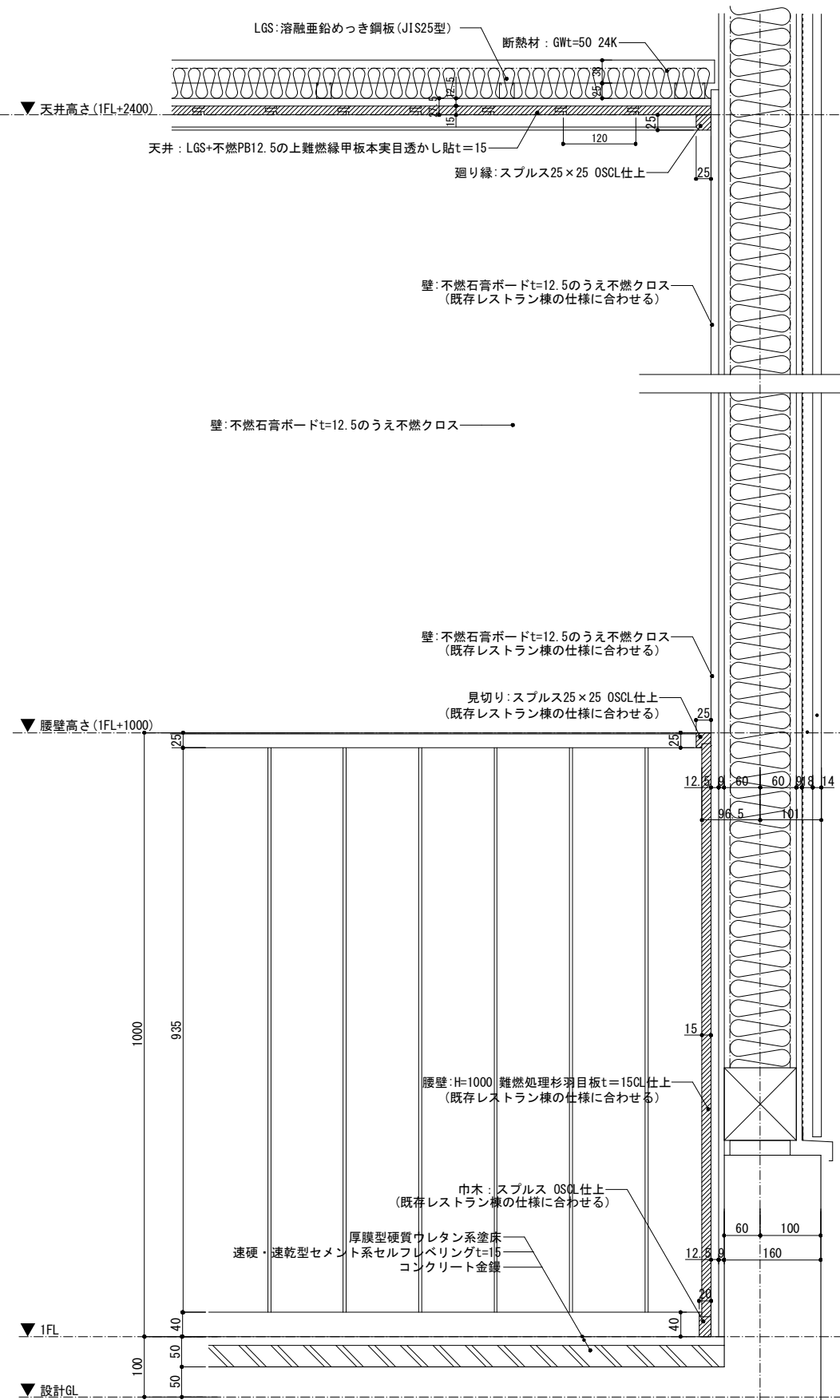
1	記号	AW-E1	AW-E2	AW-E3	AD-E1	SD-E2	凡例	
2	名称	アルミ嵌め殺し窓	アルミ外倒し排煙窓	アルミ外倒し排煙窓	アルミフラッシュ両引き扉	自閉装置付き軽量鋼板フラッシュ片引き扉		1 記号 STD ステンレスドア SD 鋼製ドア AD アルミ製ドア WD 木製ドア LSD 軽量鋼製ドア STW ステンレス窓 SW 鋼製窓 AW アルミ製窓 WW 木製窓 CW カーテンウォール SG 鋼製ガラリ AG アルミ製ガラリ WG 木製ガラリ AU 自動ドア SS シャッター SSW 鋼製可動間仕切 SFW 軽量間仕切 7 縦枠・上枠 A } B } C } D } E } 8 靴擦 A T B T C T D T E T 12 ガラリ A >>> B >>> C >>> D >>> E >>> アンダーカット 13 支持金物 T 丁番 A, H オート・ヒンジ P, H ビボット・ヒンジ F, H フロア・ヒンジ L ラバトリー・ヒンジ 14 錠 C シリンダー箱錠 I 本締付箱錠 M 円筒錠 D シリンダー本締錠 L 空錠 LH レバーハンドル錠 P 非常錠
3	仕上	アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色	焼き付け塗装		
4	寸法・数量	1570×2370 見込み70	1570×450 見込み70	800×800 見込み70	1610×1900	1030×1900		
5	取付箇所	増築レストラン店舗	増築レストラン店舗/厨房	レストラン店舗	倉庫	倉庫/冷凍冷蔵庫置き場		
6	形状							
7	枠	アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色	ボンデ鋼板焼き付け塗装		
8	沓							
9	水切							
10	額縁	アングル付き スプルスOSCL	アングル付き スプルスOSCL/厨房はアルミ曲げ加工	アングル付き スプルスOSCL	アルミ曲げ加工	アルミ曲げ加工		
11	ガラス	Low-E T4+6A+FL5 飛散防止フィルム貼	Low-E FL5+6A+FL5 飛散防止目隠しフィルム貼	Low-E FL5+6A+FL5 飛散防止フィルム貼				
12	ガラリ							
13	支持金物				アルミ成型レール、ドアハンガー	アルミ成型レール、ドアハンガー		
14	錠				静音引き錠錠 (シリンダー/サムターン)	静音引き錠錠 (サムターン/サムターン)		
15	雑金物		排煙オペレーター、付属金物一式	排煙オペレーター、付属金物一式	戸当り、引手、フランス落とし、付属金物一式	自閉装置、ガイドローラー、戸当り、引手、付属金物一式 点検カバー		
16	特記	サイディング納まり用	サイディング納まり用	サイディング納まり用				
1	記号	WD-E1	SUW-E1	TS-E1				
2	名称	木製フラッシュ片引き戸	4方枠	煙感知器連動可動防煙垂れ壁				
3	仕上	メラミン化粧板/横手：スプルスOSCL塗装	SUS-HL	ガラスクロス <NM-1860>				
4	寸法・数量	620×1900	2000×900 見附25	3430×500				
5	取付箇所	掃除用入れ	厨房	増築レストラン店舗				
6	形状							
7	枠	A:スプルス SOP		ガイドレール：SUS-HL t=1.5				
8	沓							
9	水切							
10	額縁							
11	ガラス							
12	ガラリ							
13	支持金物	T:丁番						
14	錠	ケースハンドル/本締錠						
15	雑金物	DC, 戸当り、付属金物一式						
16	特記			手動閉鎖装置 ケース：スチールt=1.6 煙感知器連動 (電気工事と調整のこと)				
共通		1. 鋼製防錆処理は、特記のなき限り、ボンデ鋼板ジクロロメートとする。 2. アルミ表面処理の酸化皮膜、又は電解着色皮膜は、特記のなき限り皮膜厚9ミクロン以上塗膜厚7ミクロン以上とする。 3. 扉の見込みは特記のなき限り、鋼製は40mmとし、木製は36mmとする。 4. 外部ガラス押えは特記のなき限り、シーリングとする。 5. 建具金物は特記のなき限り、ステンレス製とし、見本品により決定する。 6. レバーハンドルは、特記のなき限り、バックセット51mmとし、高さは床+1000mmとする。		7. ドアチェック取付位置は、図示による。 8. 建具取付位置は、平面図による。建具姿図は特記なき限り内部姿図とする。 9. 開口寸法 (W×H) は、内法有効寸法とする。				
							道の駅発酵の里こうざき新発酵市場棟新築工事	
							工事種目 レ스토랑棟増改築等工事	
							図面種別 レストラン棟 建具表	
							図面番号 A-22	
							縮尺 1/50 1/100(A3) 内容表示 意匠	
							令和8年度	
							設計者 神崎町役場まちづくり課	



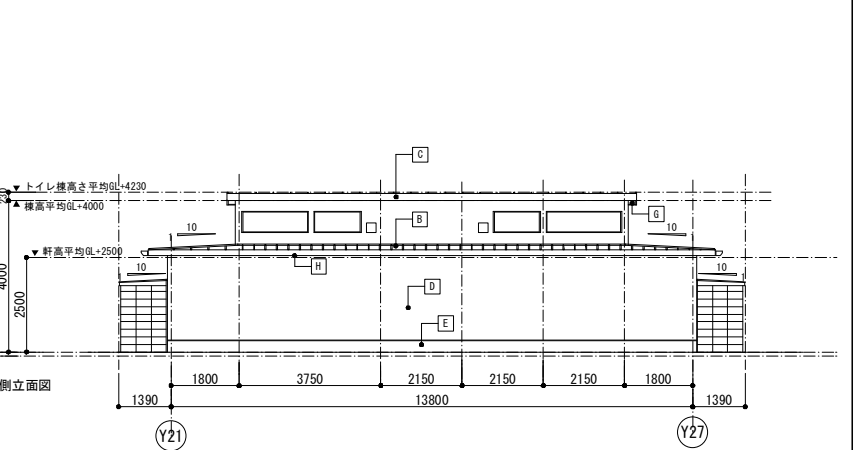
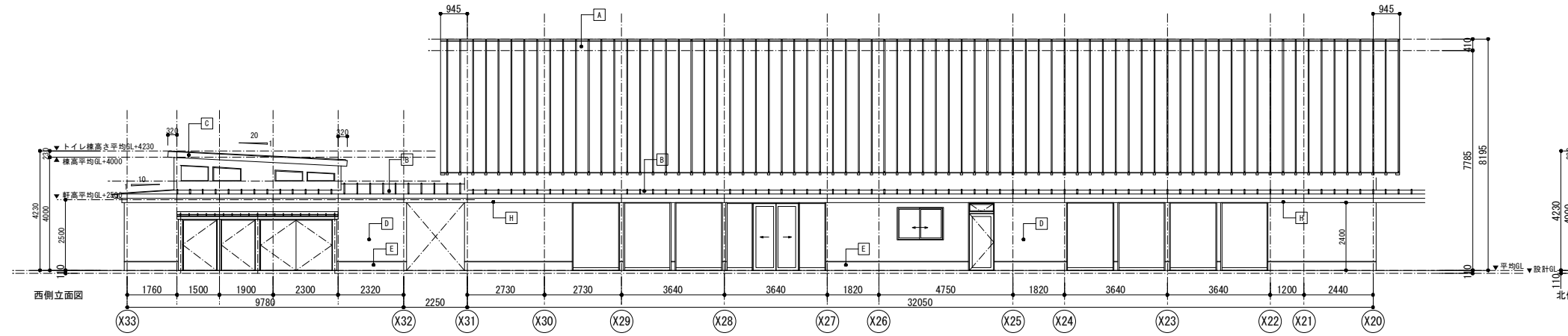
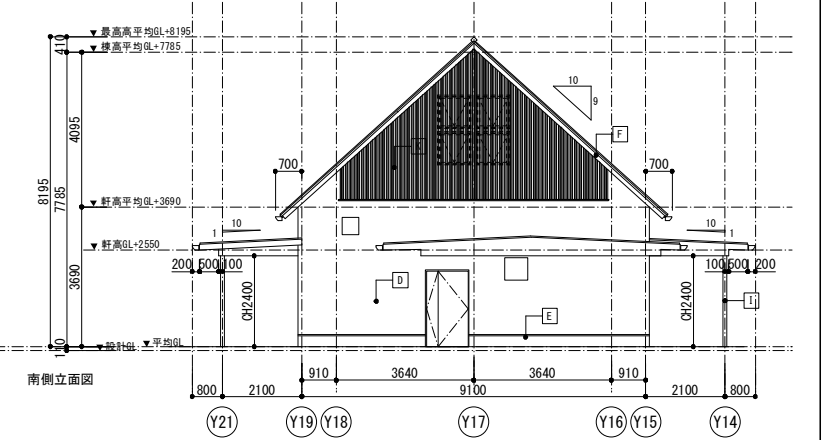
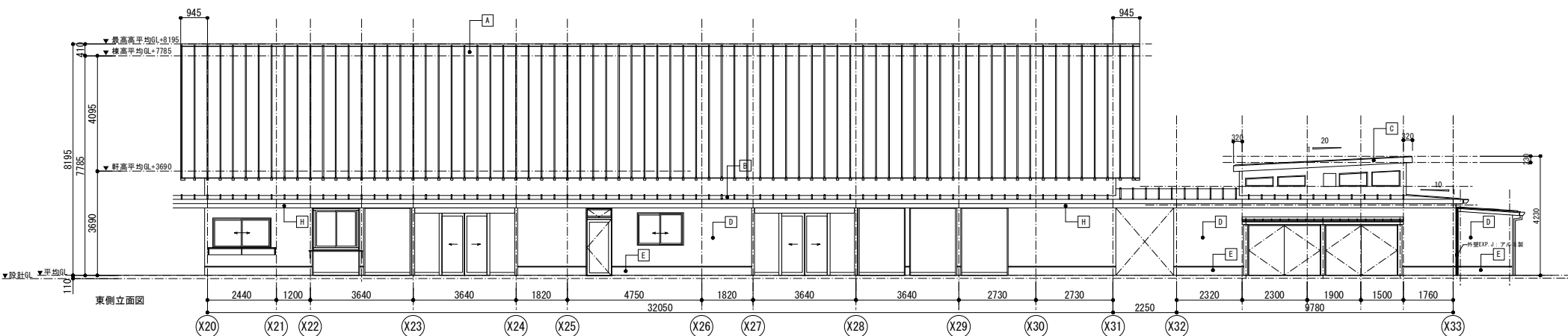
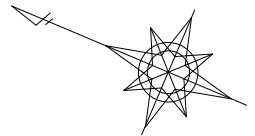
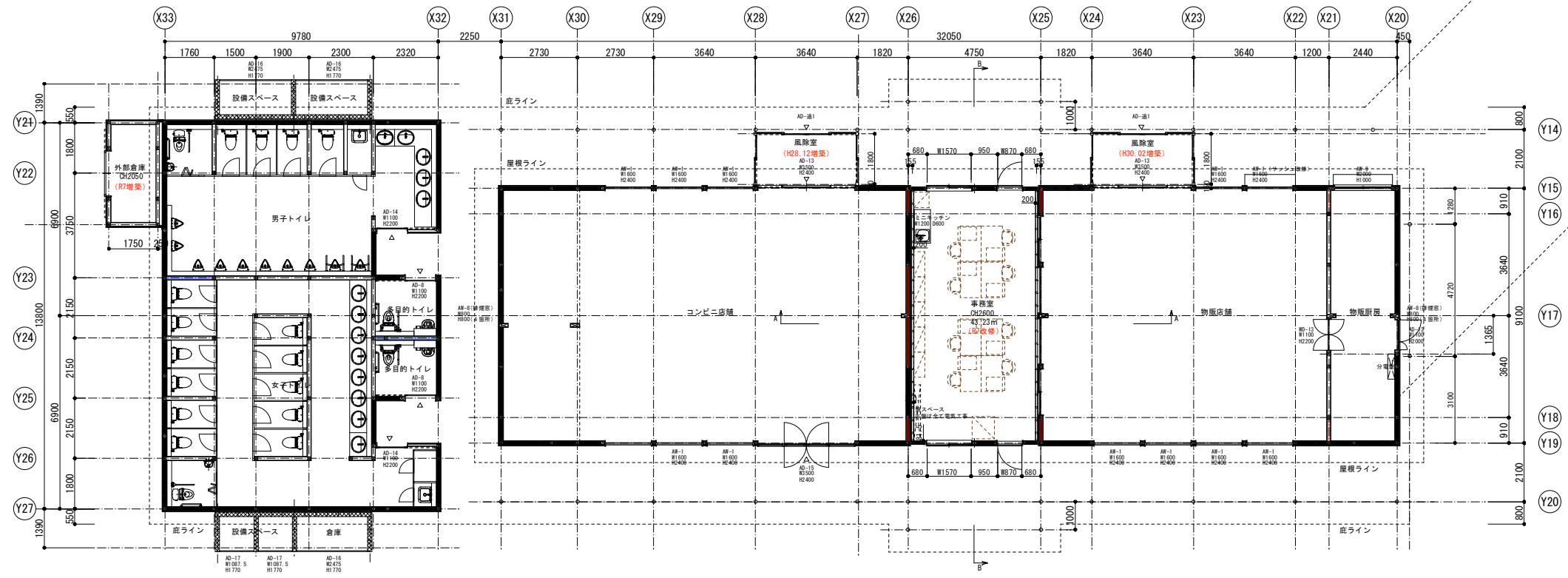
道の駅発祥の里こうざき新発祥市場棟新築工事			
工事種目	レストラン棟増改築等工事		
図面種別	レストラン棟 詳細図 01		
図面番号	A-23		
縮尺	1/5	内容表示	意匠
	1/10 (A3)		
令和8年度			
設計者	神崎町役場まちづくり課		



道の駅発酵の里こうざき新発酵市場棟新築工事			
工事種目	レストラン棟増改築等工事		
図面種別	レストラン棟 詳細図 02		
図面番号	A-24		
縮尺	1/5 1/3 1/10 1/6(A3)	内容表示	意匠
令和8年度			
設計者	神崎町役場まちづくり課		



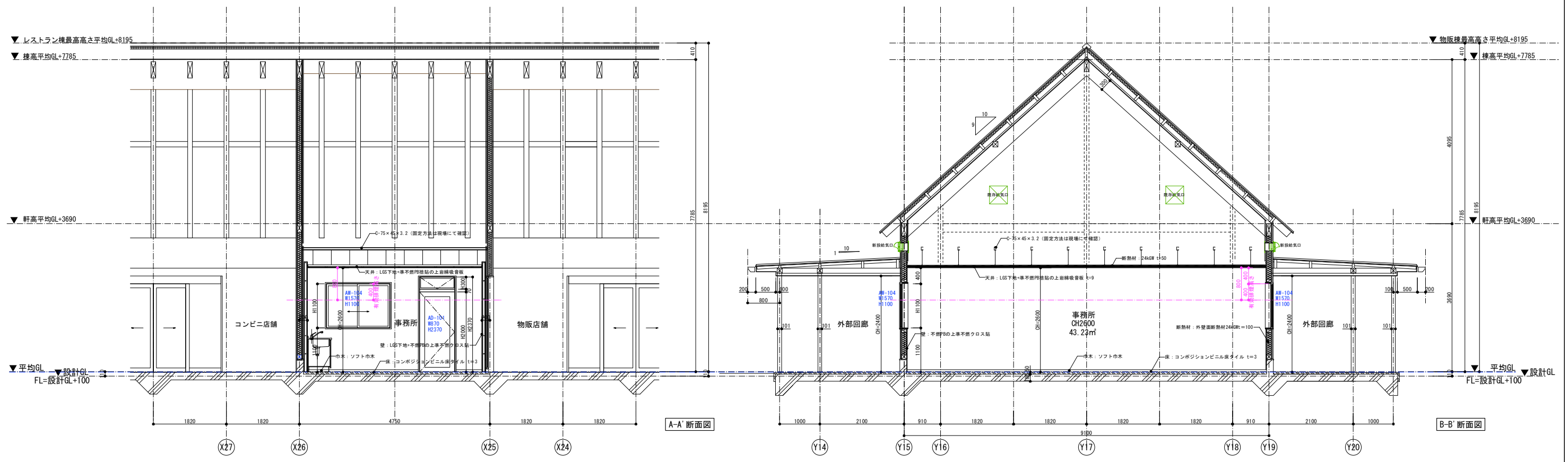
道の駅発酵の里こうざき新発酵市場棟新築工事			
工事種目	レストラン棟増築等工事		
図面種別	レストラン棟 詳細図 03		
図面番号	A-25		
縮尺	1/5 1/10 (A3)	内容表示	意匠
令和8年度			
設計者	神崎町役場まちづくり課		



外部仕上表

記号	部位	仕上
A	屋根	カラーガルバリュウム鋼板t=0.4 瓦葺き@455
B	ポーチ屋根	カラーガルバリュウム鋼板t=0.4 縦ハゼ葺き@303
C	鼻隠し	カラーガルバリュウム鋼板t=0.4 曲げ加工
D	外壁	木質系繊維混入セメントサイディング t=14 縦貼りの上リシン吹付仕上
E	基礎立上り	コンクリート立ち上がりのうえモルタル補修仕上
F	垂木・母屋	木材保護塗料仕上
G	軒裏	野地板表し木材保護塗料仕上
H	ポーチ軒裏	珪酸カルシウム板 t=10 EP塗装仕上
I	ポーチ柱	構造用鋼管パイプφ101.6 SOP塗装仕上
J	軒樋・縦樋	塩ビ製樋 φ60
K	木製ルーバー	バイン材40×60#110 木材保護塗料仕上

道の駅発祥の里こうざき新発群市場棟新築工事			
工事種目	レストラン棟増改築等工事		
図面種別	トイレ・物販棟 現況図01		
図面番号	A-26		
縮尺	1/100 1/200 (A3)	内容表示	意匠
令和8年度			
設計者	神崎町役場まちづくり課		



A-A' 断面図

B-B' 断面図

道の駅発酵の里こうざき新発酵市場棟新築工事			
工事種目	レストラン棟増改築等工事		
図面種別	トイレ・物販棟 現況図02		
図面番号	A-27		
縮尺	1/50	内容表示	意匠
	1/100 (A3)		
令和8年度			
設計者	神崎町役場まちづくり課		

内 部 仕 上 表													
棟	室 名		床	巾 木	腰 壁	壁	認定番号 (同等品)	天 井	認定番号 (同等品)	天井高	廻 縁	備 考	
物販・トイレ棟	事務室	仕上	コンポジション床シート t=3.0	ソフト巾木 H=60	_____	準不燃クロス貼	QM-****	岩綿吸音板 t=9.0	NM-8599	2.600	塩ビ製	ミニキッチン（建築） 24h換気、AC（設備）	
		下地	モルタル金鍍t=40+セルフベリングt=10			LGS(一部木間柱)+不燃石膏ボードt=12.5 断熱材24kGwt=100	QM-8619	LGS+準不燃石膏ボード t=9.5(捨貼) 24kポリフィルム付Gwt=50	QM-9828				
	シャワールーム 更衣室 (増設)	仕上	複層ビニル床シート t=2.0	ソフト巾木 H=60	_____	化粧珪酸カルシューム板 t=6	NM-8577	化粧石膏ボード t=9.5	QM-0524	2.050	アルミ	壁ジョイナー：アルミ押出成形品、扉枠：アルミ シャワーブース：0812サイズ、棚、下足箱（建築） 換気、給湯、排水（設備）	
		下地	乾式二重床t=20+捨貼合板t=12			木間柱+準不燃耐水石膏ボード t=12.5 断熱材24kGwt=100	QM-0898	LGS+準不燃石膏ボード t=9.5(捨貼) 24kポリフィルム付Gwt=50	QM-0898				
	倉 庫	仕上	エポキシ樹脂系防滑塗床	_____	エポキシ樹脂系防滑塗床(基礎立上)	準不燃VP塗装仕上	QM-9816	準不燃防カビEP塗装	QM-9816	2.050	アルミ	壁見切り：アルミ押出成形品 扉枠：アルミ曲加工	
		下地	モルタル金鍍t=50			打ち放し基礎補修	木間柱+珪酸カルシューム板 t=10	NM-3522	珪酸カルシューム板 t=6				NM-3522
			仕上										
			下地										
			仕上										
			下地										
		仕上											
		下地											

※特記事項

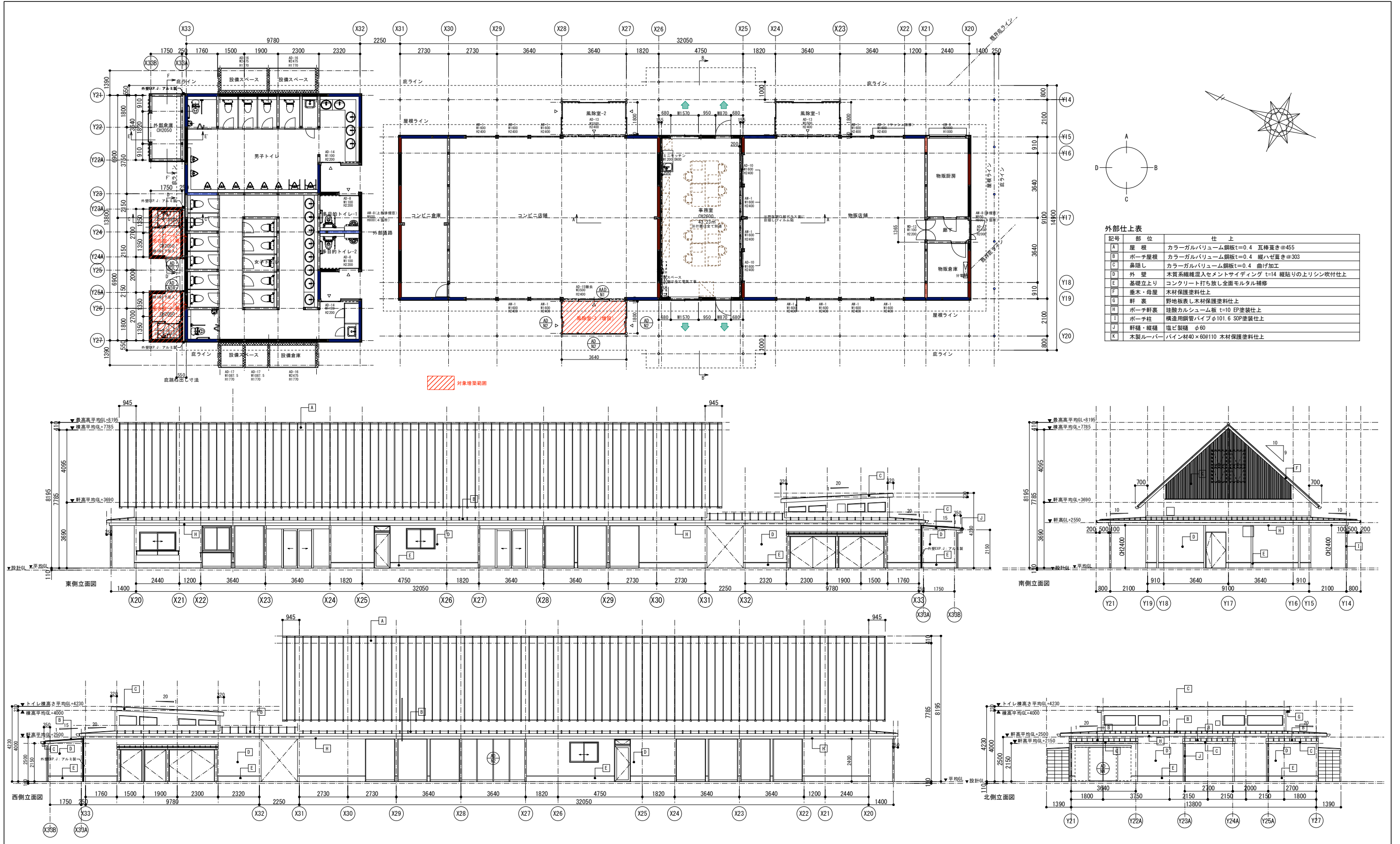
1. 内装、天井裏等の部分に使用する対象建材及び家具仕上に使用する材料・接着剤・断熱材等は全て「F☆☆☆☆」とする。
2. 防火区画部分は前後は特記のないかぎり、1M以内耐火被覆管又は大臣認定区画貫通処理法とする。
3. 令114条区画部分の区画は準耐火構造としスラブ下まで壁を至らしめる事。また同区画の設備貫通部分はFD付とする。
4. 特記の無い限り内装は、難燃材料以上とする。また火気使用室は準不燃材料以上とすること。
5. 特記の無い限り建築材料は、JIS・JAS適合品又は大臣が認定したものを使用する。
6. 特記の無い限り天井LGSは地震対策天井仕様とする。(パーツ補強、プレース設置)
7. ライニングは特記無き限り、天板は人造大理石、腰壁は壁仕上げ材とする。
8. タイルカーペット、カーテンはすべて防災認定品とする。
9. 既存部分の内装の改修は特記なきかぎり、改修前の仕様に準ずること。

法チェックシート

階	室 名	室面積 (㎡)	天井高 (m)	建具有効面積				採光チェック							換気チェック				排煙チェック					
				建具記号	建具種類	W	H	計	算定式	計	記号	有効補正係数A	係数判定	計	必要彩光面積	判定	算定式	計	基準面積1/20	判定	算定式	計	必要面積1/50	判定
1	事務室	43.23	2.60	AD-N1	片開戸	0.87	2.0	1.74	1.74×2×1	3.48		12(d)>4(D)	A=1	7.52	2.16 採光無窓1/20	OK	24h換気 設備計算書参照		設備計算書 参照	OK	0.26×2=0.52	1.16	0.87	OK
					排煙窓	0.87	0.3	0.26	0.26×2×1	0.52	12(d)>4(D)	A=1	1.60/2×0.4×2=0.64											
					引き違い窓	1.6	1.1	1.76	1.76×2×1	3.52	12(d)>4(D)	A=1												
	シャワールーム更衣室	2.93	2.05												非居室			非居室	告1436-4-二(2)			OK		
	倉 庫	6.37	2.05												非居室			非居室	告1436-4-二(2)			OK		

令和8年度
設 計 者 神崎町役場まちづくり課

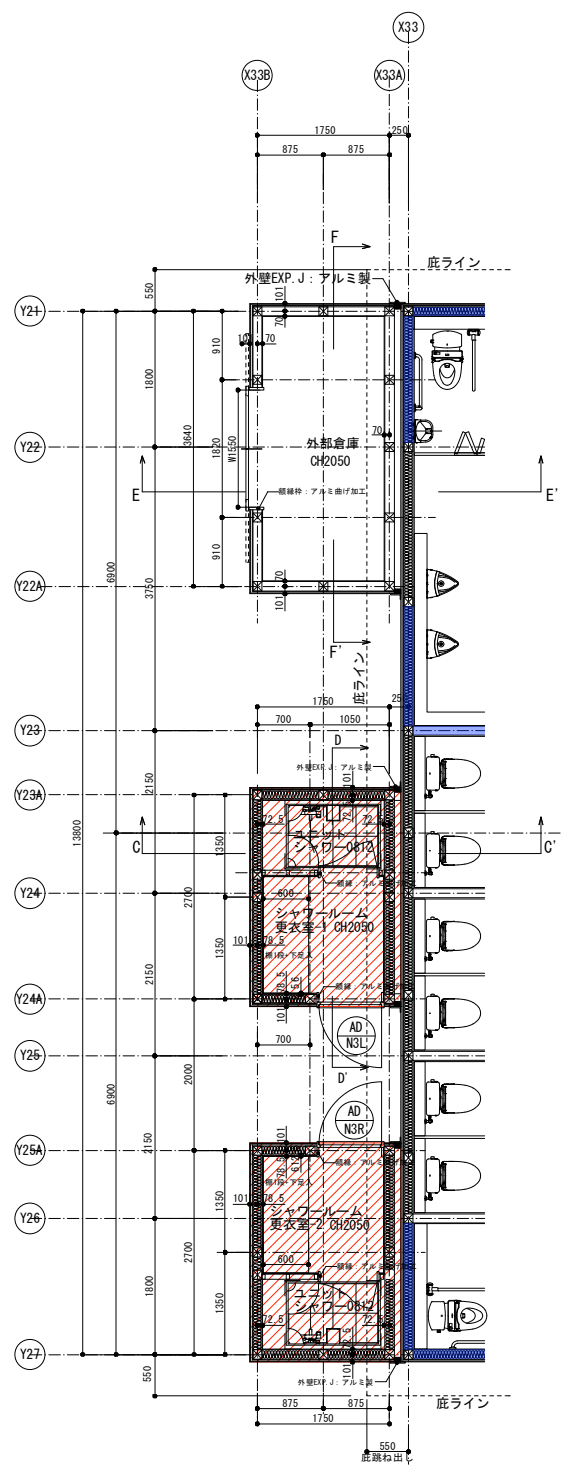
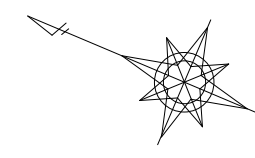
道の駅発酵の里こうざき新発酵市場棟新築工事			
工事種目	レストラン棟増改築等工事		
図面種別	トイレ・物販棟 内部仕上表/法チェックリスト		
図面番号	A-28		
縮 尺	NON	内容表示	意匠



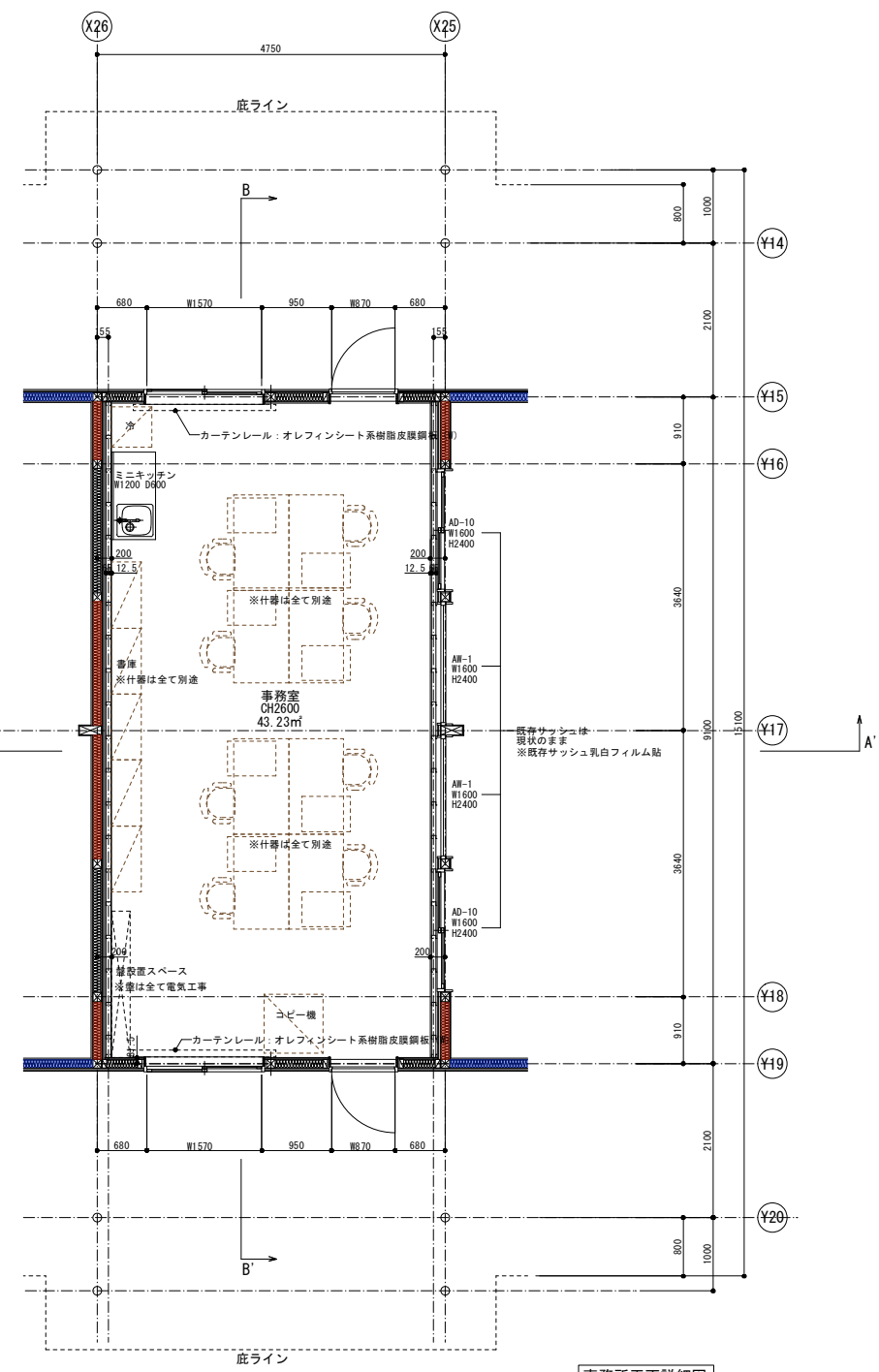
外部仕上表

記号	部位	仕上
A	屋根	カラーガルバリウム鋼板t=0.4 瓦葺き@455
B	ポーチ屋根	カラーガルバリウム鋼板t=0.4 縦ハセ置き@303
C	鼻隠し	カラーガルバリウム鋼板t=0.4 曲げ加工
D	外壁	木質系繊維混入セメントサイディング t=14 縦貼りの上リシン吹付仕上
E	基礎立上り	コンクリート打ち放し全面モルタル補修
F	垂木・母屋	木材保護塗料仕上
G	軒裏	野地板表し木材保護塗料仕上
H	ポーチ軒裏	珪酸カルシューム板 t=10 EP塗装仕上
I	ポーチ柱	構造用鋼管パイプφ101.6 SOP塗装仕上
J	軒柱・縦柱	塩ビ製柱 φ60
K	木製ルーバー	バイン材40×60φ110 木材保護塗料仕上

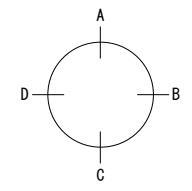
道の駅発酵の里こうざき新発酵市場棟新築工事			
工事種目	レストラン棟増改築等工事		
図面種別	トイレ・物販棟 外部仕上表/平面図/立面図		
図面番号	A-29		
縮尺	1/100 1/200(A3)	内容表示	意匠
令和8年度			
設計者	神崎町役場まちづくり課		



シャワールーム/倉庫平面詳細図

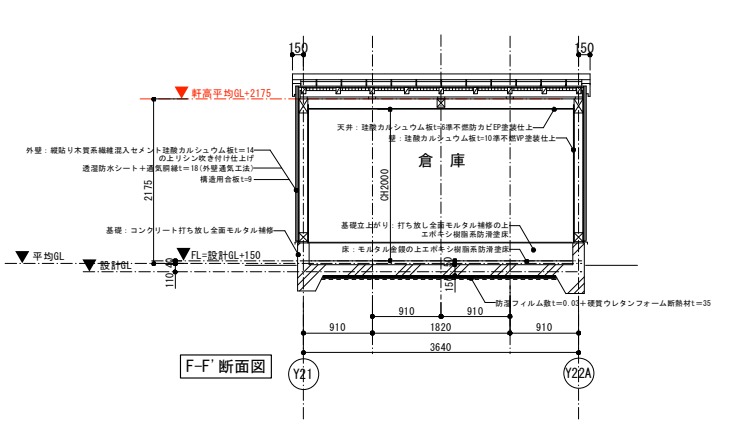
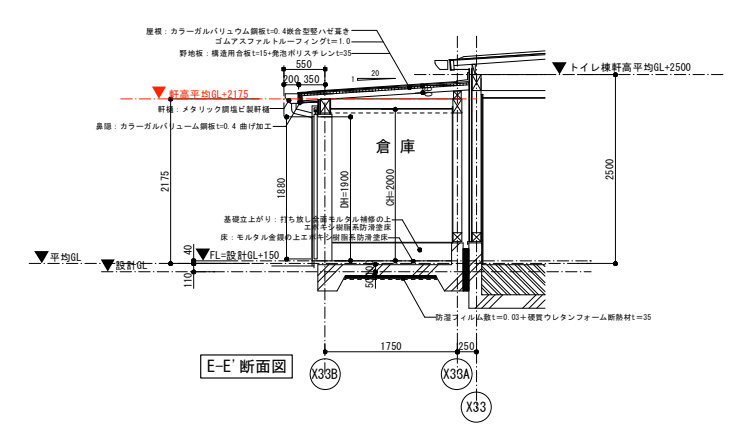
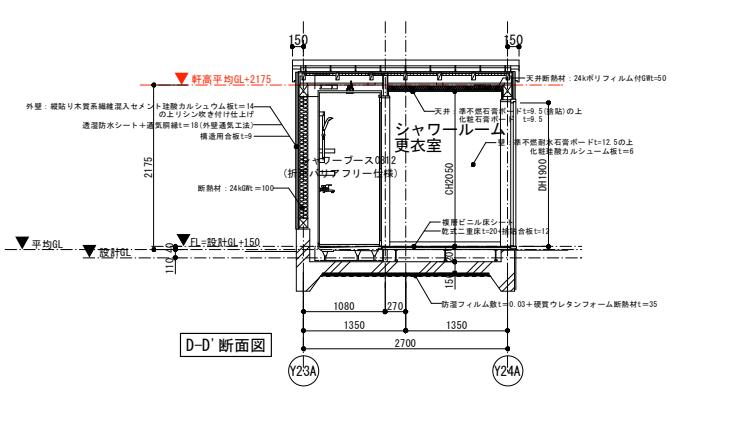
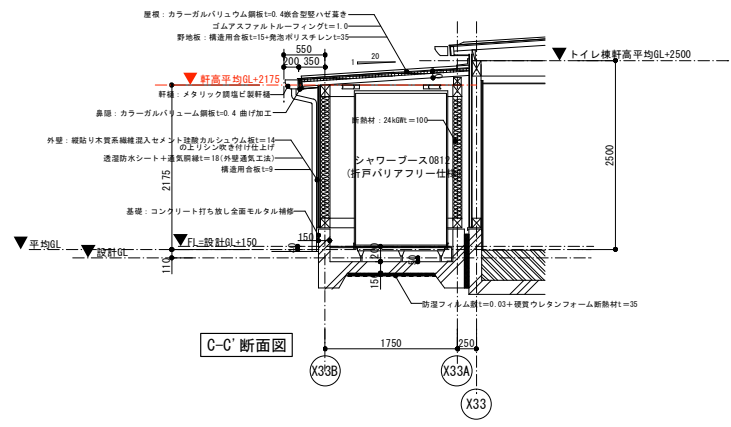
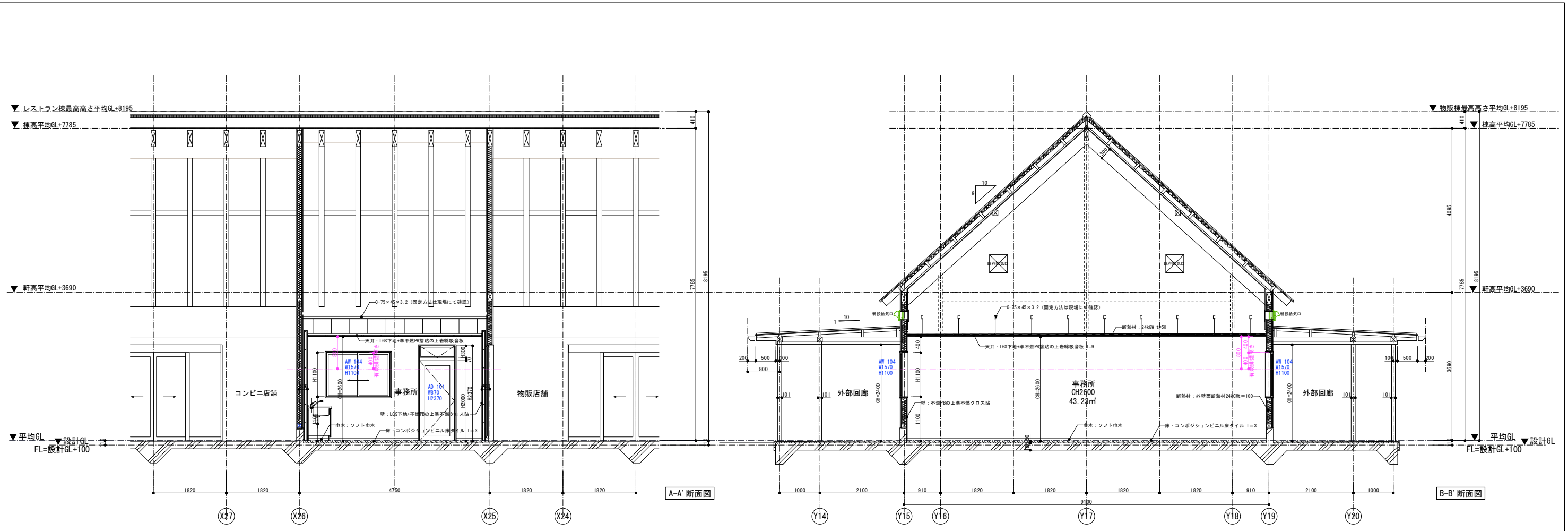


事務所平面詳細図

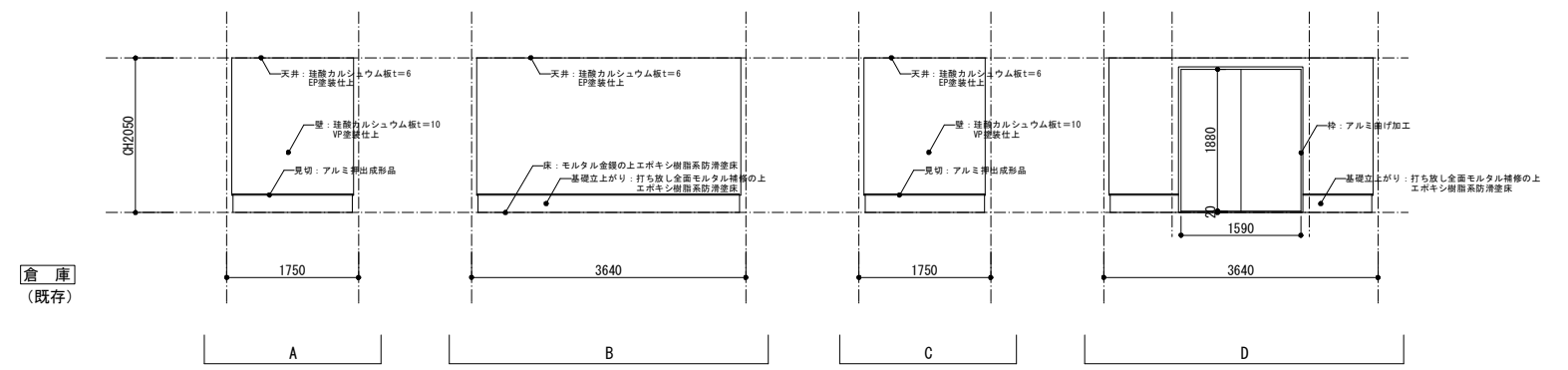
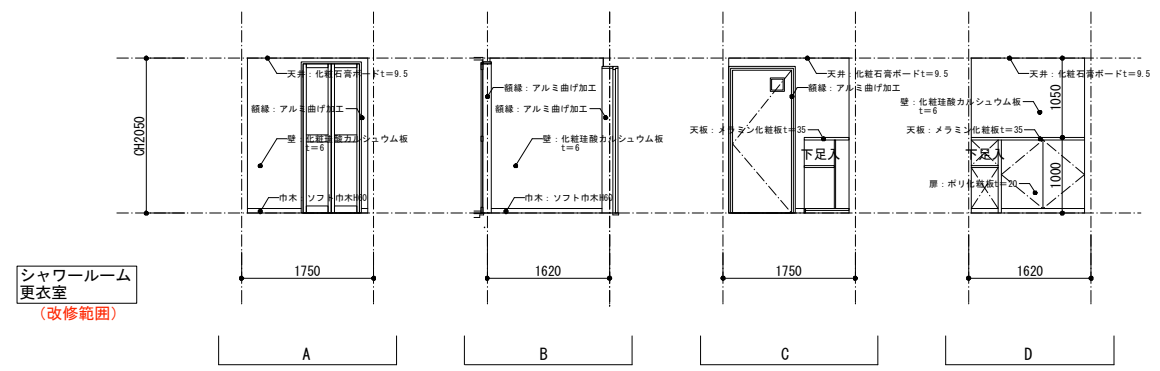
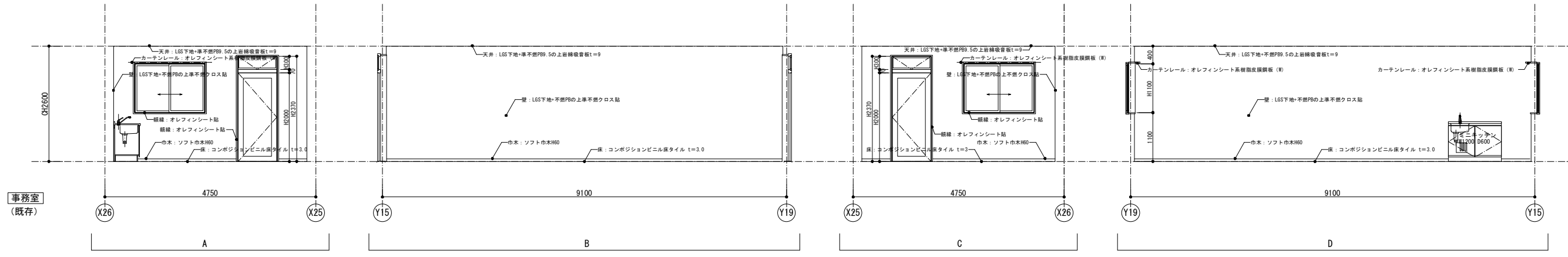


対象増築範囲

道の駅発酵の里こうざき新発酵市場棟新築工事			
工事種目	レストラン棟増改築等工事		
図面種別	トイレ・物販棟		
図面番号	事務所、シャワールーム、倉庫平面詳細図		
縮尺	1/50	内容表示	意匠
	1/100(A3)		
令和8年度			
設計者	神崎町役場まちづくり課		



道の駅発酵の里こうざき新発酵市場棟新築工事			
工事種目	レストラン棟増改築等工事		
図面種別	トイレ・物販棟		
図面番号	事務所、シャワールーム、倉庫断面詳細図		
縮尺	1/50	内容表示	意匠
	1/100(A3)		
令和8年度			
設計者	神崎町役場まちづくり課		



道の駅発酵の里こうざき新発酵市場棟新築工事			
工事種目	レストラン棟増改築等工事		
図面種別	トイレ・物販棟 事務所、シャワールーム、倉庫 展開図		
図面番号	A-32		
縮尺	1/50 1/100(A3)	内容表示	意匠
令和8年度			
設計者	神崎町役場まちづくり課		

1	記号	AD-N1R/L	AD-N2	AD-N3R/L	AD-N4	凡例
2	名称	排煙窓付きアルミ框片開き扉	嵌め殺し窓+自閉式アルミ框片引き扉	アルミフラッシュ片開き扉	アルミフラッシュ両引き扉	1 記号 STD ステンレスドア SD 鋼製ドア AD アルミ製ドア WD 木製ドア LSD 軽量鋼製ドア STW ステンレス窓 SW 鋼製窓 AW アルミ製窓 WW 木製窓 CW カーテンウォール SG 鋼製ガラリ AG アルミ製ガラリ WG 木製ガラリ AU 自動ドア SS シャッター SSW 鋼製可動間仕切 SFW 軽量間仕切
3	仕上	アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色	7 堅枠・上枠 A } B } C } D } E } 8 靴擦 A } B } C } D } E }
4	寸法・数量	870×2370 見込み70	1800+3640+1800×2400 見込み100 (現場採寸の上作成のこと)	800×1900 見込み70	1550×1900	12 ガラリ A } B } C } D } E } アンダーカット
5	取付箇所	事務所	店舗風除室	シャワールーム更衣室	倉庫	13 支持金物 T 丁番 A, H オート・ヒンジ P, H ビボット・ヒンジ F, H フロア・ヒンジ L ラバトリー・ヒンジ
6	形状					14 錠 C シリンダー箱錠 I 本締付箱錠 M 円筒錠 D シリンダー本締錠 L 空錠 LH レバーハンドル錠 P 非常錠
7	枠	アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色	アルミ電解二次着色	14 錠 (continued)
8	沓					
9	水切					
10	額縁	アングル付き 基材: 耐水MDF/オレフィンシート貼		アルミ曲げ加工		
11	ガラス	T4+6A+FL5 飛散防止目隠しフィルム貼	T4 飛散防止透明フィルム貼	F4 飛散防止透明フィルム貼		
12	ガラリ					
13	支持金物	T	アルミ成型レール、ドアハンガー	T	アルミ成型レール、ドアハンガー	
14	錠	LH錠(シリンダー/サムターン)	本締錠(シリンダー/サムターン)	LH錠(シリンダー/サムターン)	南京錠取り付け金具 ※南京錠別途	
15	雑金物	DC 付属金物一式	戸当り、引手、付属金物一式 (点検カバー共)	DC、付属金物一式	戸当り、埋込引手、付属金物一式 (レールカバー共)	
16	特記		サイディング納まり用		サイディング納まり用	
1	記号	AAD-N1		AW-N1		
2	名称	袖付き嵌め殺し窓+アルミ框両開きオート扉		袖付き嵌め殺し窓+アルミ框両開きオート扉		
3	仕上	アルミ電解二次着色		アルミ電解二次着色		
4	寸法・数量	3500×2400 見込み100 (現場採寸の上作成のこと)		1600×1100 見込み70		
5	取付箇所	店舗風除室		事務所		
6	形状					
7	枠	D:SUS-HL 見込み135		アルミ電解二次着色		
8	沓	レール: SUS304HL				
9	水切					
10	額縁			アルミ電解二次着色		
11	ガラス	強化ガラスt=6 +6A+強化ガラスt=6 飛散防止透明フィルム貼		T4+6A+FL5 飛散防止透明フィルム貼		
12	ガラリ					
13	支持金物					
14	錠	本締錠(シリンダー/サムターン)		サブロック付きクレセント		
15	雑金物	ドアセンサー、付属金物一式		付属金物一式		
		ワイヤレスタッチセンサー補助センサー付き		網戸(ストッパー付き)		
		サイディング納まり用		サイディング納まり用		
共通		1. 鋼製防錆処理は、特記のなき限り、ボンデ鋼板ジクロロメートとする。 2. アルミ表面処理の酸化皮膜、又は電解着色皮膜は、特記のなき限り皮膜厚9ミクロン以上塗膜厚7ミクロン以上とする。 3. 扉の見込みは特記のなき限り、鋼製は40mmとし、木製は36mmとする。 4. 外部ガラス押えは特記のなき限り、シーリングとする。 5. 建具金物は特記のなき限り、ステンレス製とし、見本品により決定する。 6. レバーハンドルは、特記のなき限り、バックセット51mmとし、高さは床±1000mmとする。		7. ドアチェック取付位置は、図示による。 8. 建具取付位置は、平面図による。建具姿図は特記なき限り内部姿図とする。 9. 開口寸法(W×H)は、内法有効寸法とする。		
						道の駅発祥の里こうざき新発群市場棟新築工事
						工事種目 レストラン棟増改築等工事
						図面種別 トイレ・物販棟
						図面番号 店舗、シャワールーム 建具表
						図面番号 A-33
						縮尺 1/50 内容表示 1/100(A3) 意匠
						令和8年度
						設計者 神崎町役場まちづくり課